



此ノ法ノ建前モ其ノ趣旨ニ於テハ一致シテ居ルノデアル、非常ニ困難ナル情勢ノ下ニ於テ今後今マデノヤウナ形デハ成立ツテ行カスト云フコトヲ考ヘマシテ、之ニ處スル意味カラ此ノ案ヲ立テ居ルノデアリマス、今野溝サンノ言ハレル所ハ、モウ今日カラ「アメリカ」ヲ頼ラズ、輸出ヲ全然抛棄シタ積リデ考ヘタラドウカト云フ御趣旨カト私考ヘタノデアリマスガ、無論非常ナ最惡ノ場合ニ出會シテモ驚カヌヤウナ心構ヘヲ立テテ居ルノデアリマス、唯、併シナガラ今日直グ輸出ヲ全部抛棄シテシマツテ、一俵モ出ナクテモ宜シト覺悟シテモドウカト思フノデアリマス、外貨獲得ト云フコトモ今日極メテ大事ナコトデアリマス、輸出ガ出來、外貨獲得ノ出來ル限りハ、其ノ方ノ使命モ果スト云フコトガ大事デハナカラウカ、但シ餘リニ之ニ頼ツテ居ツテ、事ノ起ツタ際ニ蠶絲業ガ轉落スルコトノナイヤウニ今日カラ其ノ心構ヘ、身構ヘラシテ置クト云フ所カラ出テ居ル譯デアリマス

然トシテマダ依存性ガ相當ニ強ク動イテ居ルノデアリマス、ソレカラ「アメリカ」トノ關係ヲ停止スル譯ニハ勿論行キマセヌガ、其ノ輸出ノ新販路ニ對シテ政府ハ考ヘテ居ラヌヤウニ思フノデアリマス、昨日モ三善君デシタカドナタカラ日満文ト言ヒマスカ、東亞ニ於ケル協同體内ニ於テノ新販路バドウカト云フ御質問ヲサレタト思フノデアリマス、私ハ東亞ハ勿論、「アメリカ」以外ノ國々ニ對シマシテモ、今日ハ世界戰爭中デ中々容易デハアリマセヌガ、ソレデモマダ中立國ハ相當アルト思フ、サウ云フヤウナ國々ハ何レモ相當ニ纖維飢餓ヲ來シテ居リマス、唯單ニ日本バカリデハナイ、ダカラソレ等ノ中立國家ニ對スル新販路ニ付テ政府ハ深キ考察ト、深キ檢討トノ上ニ、研究ヲサレ、又將來ノ其ノ見透シニ付キマシテノ御所見ヲ承ルコトガ出來レバ非常ニ参考ニナルト思フノデアリマス、サウ云フ意味デアリマス

リマストカ、靴下ヲ編ム機械デアリマストカ、撚絲ノ機械デアリマストカ云フヤウナ  
モ出ス、斯ウ云フヤウナ關係カラ「アメリカ」ト事  
ルノデアリマス、今後トモ「アメリカ」ト事  
ヲ構ヘルト否トニ拘ラズ、「アメリカ」以外  
ノ第三國へ出スト云フコトニ付キマシテハ  
一段ト努力シテ、其ノ方ノ研究ドコロデハ  
ナイ、大ニ犠牲ヲ拂ツテデモヤツテ行キ  
タイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルコトヲ御  
諒承願ヒタトイ思ヒマス

○野溝委員 非常ニ御努力ヲサレテ居ル點  
ハ洵ニ結構デアリマス、實ハ南米ニドレ位  
行ツテ居ルカ、「インド」ニドレ位行ツテ居  
ルカ、「佛印」ヘドレダケ行ツテ居ルカ數量ヲ  
御聽キシタイノデアリマスガ、是ハ目下支  
那事變中デアリマスシ、色々ノ關係デ發表  
出來ナイコトモアルカトモ思ヒマスガ、若  
シ發表シテ差支ヘナイヤウデシタナラバ御  
聽キシタイト思ヒマス

○吉田政府委員 輸出數量ハ最近ノ數字ニ  
付テハ發表スルコトヲ禁止サレテ居リマス、  
惡シカラズ御諒承願ヒマス

○野澤委員 新販路ニ付キマシテ政府ハ非  
常ニ努力ヲサレテ居ルコトヲ信頼致シマシ  
テ、ヨリ一層今後新販路ノ開拓ニ努力セラ  
レントヲ希望致シマス

次ニ私ハ輸出生絲ニ關シテ質問シテ見タ  
イト思ヒマス、此ノ法案ノ内容ヲ見マスト、  
輸出ニ對シテハドウスルト云フコトハハツ  
キリ出テ居ラヌノデアリマスガ、第四條ニ  
ハ輸入又ハ移入ヲ業トスル者ハ命令ノ定ム

蠶種ニ云々ト書イテアリマス、其ノ命令ノ事項ヲ見マスト、從來ノ輸出業者ニ輸出ヲ取扱ハセルト云フヤウニ仕向ケラレテ居ルノデアリマス、政府ニ於キマシテハ昨日最上委員ノ質問ニ對シマシテ、輸出ハ大體從來ノ輸出業者ヲシテ扱ハシメルト云フヤウニ答ヘラレタヤウニ聞及ンデ居リマス、從來ノ輸出業者ニ輸出ヲ扱ハシメルコトハ結構デアリマスカ、併シ其ノ輸出業者ガ統制會社ノ埠外ニ於テ自由ニ輸出ヲ扱フコトヲ許スノデアリマスカ、統制會社ノ輸出部門トシテ輸出扱ハセルノデアリマスカ其ノ點ヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○吉田政府委員 統制會社ハ輸出向ノ生絲ノ製造サレタモノガ海外ニ流レマス場合ニ於テ、原則的ニ現在マデ御承知ノヤウニ製絲家ガ横濱神戸ノ輸出市場ニ出シマシテ、此處デ輸出ヲ業トシテ居ル者トノ間ニ賣買ガ行ヘレ、輸出ヲ業トスル者ガ之ヲ買ツテ輸出シテ居タ、斯ウ云フ經路ヲ迪ツテ居タノデアリマシテ、今後ト雖モ此ノ經路ヲ迪ルコトニチラウト思ヒマス、隨テ今御話ニナリマシタ御言葉ヲ藉リテ申シマスナラバ、此ノ會社ニ一遍入ツテ是カラ出デ行カナイ、所謂埠外ト云フコトニナル譯デアリマス、但シ此ノ會社ト雖モ市場ノ數量統制ト申シマスカ、サウ云フコトヲ價格ノ調整ノ上方ラヤルコトニナツテ居リマスカラ、輸出向ノ絲ト雖モ特定ノ場合ニ於テハ此ノ會社ガ買フコトモアリ得ル譯デアリマス、要スルニ數量ノ調節ヲ價格ノ關係カラ此ノ會社ガヤル、斯ウ云フ考へ方デ進メテ居ルノデアリマス。

コトト少シ違ツテ居ルヤウニ思フノデアリ  
業者ニ委セル、要スルニ統制會社デ一旦總  
テノ繭ヲ集荷シテ、ソレヲ製絲業者ニ實績  
配給シテ、出來タ絲ヲ會社ガ買上ゲテ、其  
ノ買上ゲタ物ヲ今度會社ガ輸出ヲスル、斯  
ウ云フ風ニ私ハ解釋シタノデアリマスガ、  
今聽ク所ニ依リマスト、製絲家ガ繭ノ配給  
マデハ實績數量ニ依ツテスルケレドモ、出  
來タ絲ハ輸出業者ガ之ヲ扱フ機構ニスル、唯  
數量ノ統制ダケヲ統制會社ガスルト云フダ  
ケデアリマスカ、ソレデ第二十二條ノ需給  
ノ完全ナル調節ト云フコトが出來マスカ、  
本蠶絲統制法ハ革命的轉換立法デアリマシ  
テ、農村ニ取リマシテハ是以上ノ最近ニ於  
ケル革命的立法ハナイト思フ、農家ニ於キ  
マシテハ御承知ノ通り八百四十何万石ノ米  
ノ減收ヲ來シマシテ、一石四十二圓ニ見マ  
シテモ、三億二千万圓ト云フ減收ヲ來シ、  
養蠶方面ニ致シマシテモ或ハ三割、或ハ四  
割、場合ニ依リマシテハ戰爭モ起リマシ  
タナラバ、輸出ヲ禁止シナケレバナラヌト云  
フ狀態デアル時、養蠶業初メ關係者ガ國策  
ニ副フ體制ヲ整ヘテ居ル時ニ、此ノ輸出部  
面ニ對シテ自由奔放ニスルト云フコトハ、  
理論的ニ言ヒマシテモ、大イニ誤ツテ居ル  
ト思フ、政府ハ現實ノ問題ヲ盛ンニ言ハレ  
マスケレドモ、併シ犠牲ヲ負ヒマラバ、蠶  
絲關係者一體ガ犠牲ヲ負ヒマス、私ハ獨リ  
輸出部門バカリノ心配ノ問題デハナイ、全體  
ノ心配ノ問題トシテ御考ヘ願ヒタイト思ヒマ  
ス、サウ云フ點カラ之ヲ考察スルナラバ、政府  
テ政府ハ肚ヲ決メタ方針デ進マナケレバナ

ラスト思フノデアリマス、ドウシテ一體輸出業者ニ自由ニ之ヲ扱ハシメナケレバナラヌカ、唯數量ダケノ統制デヤツタンデハ問題ニナラスト思フ、政府ハ少イ指値ヲ置キ今マデノ制高制低ノ値段トハ違ヒ、餘り開キヲ置カヌト言ハレマスガ、此ノ點ニ對シカト云フコトニ付キマシテ、新聞紙上色々マシテ何ガ故ニ一體輸出業者ヲシテ扱ハシヌカレバナラヌカ、又扱ハシタ方ガ有利傳ヘラレテ居リ、或ハ昨日ノ答辯ニ於テモ品質ノ低下トカ失業問題トカ言ハレマシタガ、私達ハソンナ無理論ノ内容ダケデハ納得出来マセヌ、一ツ此ノ際政府ノ決意ヲ御伺ヒシタイト思フ

○吉田政府委員 輸出向ヶノ生絲ノ取引部面ニ於キマシテ、今申上ゲタヤウナ形デヤル方ガ宜イト考ヘテ居ル理由ハ、昨日最上サンノ御質問ノ際ニ申上ゲタノデアリマスガ、ソレハ此ノ會社デ一手ニ買ツテ賣ルト云フコトニ致シマスレバ一本値ト云フコトニナツテ、價格ノ安定ト云フコトカラ見ルト沟ニ理想的ナ形體トハ思ヒマスガ、昨日申上ゲタヤウニ、生絲ハ他ノ國內ノ物資ト違ヒマシテ非常ニ潤澤ニアリ過ギルモノデアリマス、之ヲ供給者側ガ抱ヘテ居ツテ自分ノ思フ値デ賣ツテ行クト云フコトガ果シテ巧ク行クカドウカト云フ點ノ懸念ガアル、又無論國內デハ低物價デアリマセウガ、海外ニ賣ル者ハ向フガ買フ限りニ於テ、高ク賣ルト言ツテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、會社トシテハ買込シダ縁アベケ高ク賣レルヤウニ値ヲ決メル、其ノ值ガ果シテ突張ツテ行ケルカドウカト云フ點ニ私ハ懸念ヲ持ツト申シタノデアリマス、生絲ノ方ハ申タサウハ行カヌヤウナ結果ニナリハシ

ウシマスルト一應高ク賣リタイト云フ考へ方デ決メマシタ值ガ、最後マデ維持出來ナイ、買人側カラ抑ヘルト云フヤウナ結果ニナツテ、然ラバト云フノデ或ル程度値ヲ下ゲテ賣ル、ソコデ買ツテ吳レレバ宜イガ、又少シ下グル、茲ニ駆引等ガ行ハレマシテ、片法ハ「アヌリカ」人モサルモノデアリマスカラ中々言ヒ値デ買ハヌト云フヤウナコトニナリデリ貧的ニ動イテ行クノデヤナイカ、無論サウナラヌカモ知レマセヌガ、是ハサウ云フヤウナ懸念ガアルノデアリマス、サウ致シマスト一ツハ外貨獲得ノ上ニ於テ不利ナ結果ニナル、又動クモノト致シマシテハ、是ハ一種ノ安定デハナクナツテシマフ、殊ニ一ツノ會社ガ或ハ時期ヲ限ツテ、思ヒ付イタ時ニ時折値ヲ下グル、斯ウ云フヤウナコトニ致シマストはハ安定ニナラナイデ、却テドチラカト申シマスト惡性ノ不安定ト云フヤウナ結果ニナル、斯ウ云フヤウナコトガ起リハシナイカト云フヤウナ懸念ガアリマスノデ、是ハ相場ノ幅ヲ出來得ル限り狭イコトニシテ置イテ、其ノ間ニ於テ自然ノ形ノ於テ動イテ行クト、斯ウ云フヤウナ形デ進ム方ガ宜シイ、斯ウ云フ考ヘ方ヨシテ居ルノデアリマス、ソレカラ會社ガ一手ニ買フト賣値ニ非常ニ困難ト面倒ガ起キテ來ル、ソレカラ、製絲家ノ立場カラ見テ優良絲ヲ製造スルコトニ付テノ努力ガ鈍ルヤウナ結果ニナリハシナイカ、ソレカラ又海外ニ對シテ政府ト一體トナツテ居ルヤウニ言ヒナガラ勝手ニ自分ノ所デ決メテ賣付ケルト云フヤウナ印象ヲ、海外ノ消費者ニ與ヘルト云フコトニナルト、將來ニ於テ拙イト云フヤウナ諸點ヲ考慮致シマシテ、價格ノ

○野瀬委員 現状維持的ナ考へカラスルト  
納得出来ルノデアリマスガ、今國策ハ統制  
經濟ヲ主張シテ居ルノデアリマス、恐ラク  
日本ノ國ガ貿易業者ニ任セルト雖モ國策ト  
云フモノハ政府ガ大體ニ於テ方針ヲ決メテ  
ヤツテ居ルノデアリマス、經濟ニ於テモ政  
治ニ於テモ大體サウデアリマス、其ノ時ニ  
獨リ蠶絲業ノミガ日本デハ自由奔放ニ許サ  
レテ居ルト云フヤウナ印象ヘ、米國ト雖モ  
恐ラク考ヘナイ者ガ八、九割マデ居ルノデ  
ハナイカ、一割位ハ只今ノヤウナ考ヘ方ヲ  
持ツ人ガアルカモ知レマセヌガ、今日ノ如  
ク世界戦争ニナツテ居ル時各國民トモサウ  
云フ風ニ考ヘテ居ルト思ヒマス、特ノ經濟行  
シテ居ルト思ヒマス、ソコデ勿論政府ノ申  
サレマスル通リ國內ハ低物價デ海外ヘ高物  
價、ソンナ調子ニ行ケバ洵ニ結構デアリマ  
ス、又ソレハ惡イトハ言ヒマセヌ、併シソ  
レハ何キ輸出業者ニ自由ニサセナクテモ出  
來ルノデハナイカト思ヒマス、何故カナレ  
バ統制會社ニ於テハ之ヲ輸出部門ニ吸收致  
シマシテ、サウシテ輸出部門トシテソレガ  
活躍サセタナラバ、其ノ目的ハ達スルト思  
ヒマス、輸出業者ノ連中モ今日此ノ際餘リ  
私益ヲ中心トシタ考へ方ハ止メテ、オ互ヒ  
ガ最低生活ニ依ツテ、此ノ時局ヲ切抜ケル思  
以外ニナイ、是ガ今日國民全體ノ一つノ臣  
道實踐ニ相成ツテ居ル、其ノ時ニ獨リ此ノ

輸出業者ノミガ自由主義的ナ埠内ニアツテ、昔程ノ儲ケハナイケレドモ、指値ガアルカラ、其ノ指値ノ間ニ於テ儲ケヨウト云フヤウナ料簡ハ宜シクナイ、唯政府トシテハ外貨獲得上困ルト言ハレマスケレドモ、ソレハ輸出部デヤツテ行ケバ出來ルノニアリマス、其ノ際ニ損ヲシタ場合困ル——國策會社ガヤルト云フコトニナルト、相手モ相當ニ考ヘル、サウスルト今デサヘモ相當滯貨ガアルニ拘ラズ、今後政府ガヤルト云フコトニナルト、足元ヲ見ラレテ心配グト言ヒマスケレドモ、ソレハ絲價安定施設法モアリ、政府ハ今回ノ會社ニ對シテ、八千萬圓ノ資本ノ半額ヲ出資シ、絲價安定施設法ニ對シマシテハ今度ヘ出荷制限ヲ致シマシテモ、之ニ對シテハ絲價保證ヲシテ居ルノデアリマス、兎ニ角蠶絲業者ト云フモノハ全體ガ肚ヲ決メテ、今回ノ蠶絲統制法ニ從ツテ、繭ノ値段ガ叩カレテモ我慢ヲシテ行カウ、斯ウ云フ時局デアリ、斯ウ云フ國際關係デアルナラバ、是モ仕方ガナイカラ、犠牲ヲ忍ンデ行カウト云フ覺悟ヲ蠶絲關係者全體ガ持ツテ居ル際ニ、獨リ輸出業者ガ其ノ部門ダケラ生カシテ行カウト云フ考ヘ方々、ドウシテモ納得出來ナイノデアリマス、ソレカラ賣抜キニ對シマシテ、絲格ヲ非常ニ落サレルト云フ心配ガアル、非常ニ貿易上ノ損失ダト言ハレテ居ルヤウデアリマスガ、サウ云フ點ハ心配ナイト思ヒマス、今までデサヘモ或ハ三「エー」格「ツー・エー」格、「エー」格、「ビー」格マデハ輸出ヲサセテ居ツタノデアリマスガ

〔小山（邦）委員長代理退席、委員長着席〕  
併シ今度ハ絲價ノ幅ヲ狭メマシテ、點數ヲ

成ベク狹ク致シマシテ、之ヲ統制シテ行クト云フコトナラバ、要スルニ絲價ト云フモノハ安定スルノデアリマス、安定シタ値段デ以テ信用取引ヲスルト云フコトナラ、是カラノ國際關係ガ激化致シマシテモ、「アメリカ」ノ業者ハ之ヲ買受ケル、特ニ此ノ點ニ付キマシテハ、サウ云フ心配ハナイト私ハ思ヒマス、サウ云フ餘リ開キノアル絲格ヲ置クヨリハ、寧ロ此ノ機會ニ絲格ヲグット限定致シマシテ、モット幅ヲ狭メテヤルト云フコトナラバ、信用取引上大イニ賣行ガ發展スルト思フノデアリマス、又發展ヲシナクトモ、現狀ヲ確保シ、輸出部門ニ任せルダケノ成績ハ十分ニ舉ツテ行クト思ヒマス、其ノ點ノ意見ニ對シマシテ、或ハ意見ノ相違デアリ、見解ノ相違デアルト云フコトナラバ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、私ハ斯ウ云フ持論ヲ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ、政府ハ如何ナル風ニ考ヘテ居ラレルカ

〔委員長退席、最上委員長代理着席〕  
前ノ意見ヲ飽クマデモ曲ゲズシテ、其ノ方針デ行カウトスルノデアリマスカ、ソレヲ御聽キシテ置キタイト思ヒマス、尙ホ私ノ意見ガドウシテモ呑込メナイト云フコトデアリマスナラバ、私ハ政府ノ御意見ヲ聽イタ上ニ、又改メテ此ノ問題ニ付テ質問ヲシテ見タイト思ヒマス、併シ政府ニ於キマシテ、研究ノ餘地ガアリ、相當善處シテ見タクヤウナモノラドノ程度ニ組合ハセルカ、斯ウ云ツタ難カシイ問題ガアルノデアリマシテ、無論現在ノ制度デモ出來ルダケ精密ニ格ヲ付ケヨウト云フコトカラ、長年ノ間技術者間ニ研究致シ、「アメリカ」等ノ消費者トノ間ニ於テモ協議ヲ遂ゲマシタ結果、出來テ居ルモノナノデアリマス、ソコデ出来上ツテ居ルノハ、サウ云フ形ニナツテ、或ル程度幅ノアルコトハ已ムヲ得ナイコトニナツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ、昨日モ申シマシタヤウナ形デ、茲ニ此

在ノ幅ノアルヤウナ格ノ定メ方ヲモウ少シ小刻ミニシテ、サウシテ値段ニ段階ヲ付ケレバ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御議論ガアルノデアリマシテ、理論的ニハ御尤モノ點ガアルノデアリマスガ、今日格付ヲ十段階ニヤツテ居リマスノハ、生絲ノ品位ヲ定メマスルノニ、「セリプレーン」ダケデ生絲ノ質ハ決マラナイ、或ハ茲ニ小類ト云ツタヤウナモノモ考ヘナケレバナラヌ、大中類ノ成績ト云ツタヤウナコトモ考ヘナケレバナラヌ、纖度ノ外レ云タト云フヤウナコトモ考慮ニ入レナケレバナラヌ、其ノ他絲ヲ繰ツテ見マシテ、度々切レルヤウナモノハ惡イコトナラバ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、絲質ヲ決定スル上ニ考慮サレルノデアリマス、是等ノ各項目ニ付テノ成績ヲ組合ハセマシテ、最後ニ結論的ニ品質ノ段階ヲ付ケテ居ルノデアリマス、「セリプレーン」ダケデ申シマスレバ、一點毎ニ、八十五點、八十六點、八十七點ト云ツタ工合ニ決メレバ宜イデヤナイカト云フ風ニモ見エルノデアリマスガ、斯様ナ各項目ヲ綜合的ニ組合ハセマシテ、片方ノ成績ガ良イガ、片方ノ成績ハ惡イト云フヤウナモノラドノ程度ニ組合ハセルカ、斯ウ云ツタ難カシイ問題ガアルノデアリマシテ、無論現在ノ制度デモ出來ルダケヤルマイトハ思ヒマスルケレドモ、併シヤラ依レバ狡ケルト云フヤウナ、ソンナコトハト思ヒマスガ、ドウデスカ

〔最上委員長代理退席、委員長着席〕  
○吉田政府委員 無論製絲家モ、斯ウ云フ際デアリマスルカラ、職域奉公デ、見方ニ依レバ狡ケルト云フヤウナ、ソンナコトハト思ヒマスガ、ドウデスカ

○吉田政府委員 無論製絲家モ、斯ウ云フ際デアリマスルカラ、職域奉公デ、見方ニ依レバ狡ケルト云フヤウナ、ソンナコトハト思ヒマスガ、ドウデスカ

○野溝委員 其ノ點ハ私ハ心配ハナイト思テ、是等ノ各項目ニ付テノ成績ヲ組合ハセマシテ、最後ニ結論的ニ品質ノ段階ヲ付ケテ居ルノデアリマス、此ノ點ヲ申シテ居ル専門家デヤアリマセヌカラ、其ノ點ハ能ク分ラヌノデアリマスルガ、此ノ點ガ確立スルノデアリマス、此ノ點ガ確立スル譯デアリマス

ト思ヒマス、絲價安定施設法一ハ絲價安定委員會モ出來マスシ、此ノ法規ニハ堂々ト監理官ヲ必要トスルト、ハツキリサレテ居リマスカラ、計算カラ、狀況カラ、監督シ検査スルコトニナツテ居ルノデアリマス、是デ十分出來ルト思フ、是デ以テスツカリ抑ヘテ行ケル、蠶絲委員會ト云フモノニ付テモ、昨日大臣ガ答辯セラマシタ通り、是ハ専門家ヲ相當入レルト云フコトヲ言ハレテ居リマスカラ、此ノ點デハーツモ心配ハナイ、私ハ何モ政府ニ食ヒ下ツテ、政府委員ヲ抑ヘテ得意トスルト云フヤウナ氣持ハーツモアリマセヌ、共ニ相談ヲシテ行カニケレバナラヌ問題デアリマシテ、特ニ此ノ法案ヲ貫ク精神ト云フモノハ洵ニ結構デアリマスカラ、ドウカ左様ナ風ニ考ヘテ戴キタイト思ヒマス、其ノ點ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ

○吉田政府委員　此ノ蠶絲委員會ノ構成ニ付キマシテ、昨日大臣カラ御話ノアリマシタ如ク、生産方面ノ専門家ヲ相當入レテ居リマスガ、現在ノ絲價安定委員會ハ是ハ主トシテ値段ニ關スルコトデアリマスカラ、其ノ方面ノ顔觸レガ集マツテ居ルノデアリマス、併シ今度ハ全般ニ瓦ツテノ問題デ、殊ニ生産方面ニ極メテ重大ナル關係ガアルカラ、サウ云ツタコトヲ考慮ニ入レテ人選ヲ致シタイト云フコトヲ申サレテ居ルノデ、アリマスガ、此ノ委員會デハ御承知ノヤウ云フコトデアリマスルガ、其ノ限度ヲドノ樹立スルコト、且又生産費ヲ基準トシテ繭價ヲ決メ或ハ國用絲ノ買入値ヲ決メル斯ウ程度ニシタラ宜カラウカト云フ基準的ナ項目ヲ決メル、斯ウ云ツタヤウナ基本事項ニ

付キマシテ、ナラ決メテ行ク委員會デアリマス、隨ヒマシテ製絲家ガ製絲工場ニ於テ所謂同ジ「エー」格ノ中モ上等ノ「エー」格ト下等ノ「エー」格トアリマスカラ、ドウモ兎角怠ケテ下等ノ「エー」格ヲ造ツテ居リハセヌカト云フヤウナ監督ハ中々此ノ委員會デハ出来ルモノデハナイノデアリマス、此ノ委員會ハサウ云フ監督ヲスル委員會デハナイノデアリマス、基本的ナ計畫ヲ決メル、斯ウ云フ委員會デアルノデアリマス

○野澤委員 ソレハ大體分ツテ居リマス、併シ私ハ蠶絲統制ト云フ其ノ中ニ輸出部門モ入レル、ソレガ此ノ蠶絲統制會社ノ統制下ニ入レバ、其ノ範圍ヲ擴大シテモ出來ルノデハナイカト云フコトヲ言ツタノデアリマス、其ノ點ニ對シテノ御所見ヲ聽キタイノデアリマス

○吉田政府委員 無論今ノヤウナ問題ニ付キマシテハ、政府ハ固ヨリ業者ノ間ニ於キマシテモ、サウ云フ怠ケテ狡ケルヤウナ傾向ノナイヤウニ、十分は努メテ行カナケレバナラスト思ツテ居リマス、又製絲業者自ラモ、吾々モ滅私奉公デ絲ヲ造ツテ出ス、隨テサウ云フ點ニ付テ懸念ガナイ、又團體デ自治的ニ之ヲ検査ヲスルト云フカ、監督ヲスルト云フカ、サウ云フヤウナ方法モ十分立テルト申シテ居リマス、隨テ無論吾々ガ最惡ノ場合ダケヲ考ヘテ、惡イコトヲスルモノノヤウニ決メテ掛ルノモ宜クナイカモ知レマセヌガ、狡イコトヲヤルモノナリト決メテ掛ルノハ餘り製絲家ヲ惡ク見タヤウナ結果ニナツテ、甚ダ相濟マヌヤウナ形ニナルノデアリマスガ、サレバト云ツテ滅私奉公ト云フ言葉通リニ常ニ行クモノナリト見ルコトモイケナイ、斯ウ云フコトデ謂ハ

○野溝委員 是ハ興亞院トモ非常ニ關係ノ  
アル問題デアリマシテ、今生絲輸出ニ付テ  
質問シテ居ル所デスガ、支那ノ華中蠶絲ノ  
關係モアリマスノデ、興亞院ノ御出席ヲ願  
ツタ譯ニアリマス

輸出ニ關シマシテ政府ノ御所見ハ分リマ  
シタガ、私ハ支那トメ問題ヲドウスルカト  
云フコトガ重大ナ問題デハナイカ、昨日モ  
質問ガアツタヤウデアリマスガ、ドウモ其  
ノ結論ガ得ラレナイデ、ボレットシテシマ  
ツテ、尻切レ蜻蛉ニナツテシマツタノデア  
リマス、一昨年以來此ノ質疑ヲ續ケテ參ツ  
タ私トシテハ甚ダ遺憾ニ思ツテ居リマス、  
支那ニ於キマシテハ軍及ビ興亞院、ノ御努力  
ニ依リマシテ漸ク軌道ニ乗リマシタ聞イ  
テ居マス、支那產生絲ハ戰前三十五万俵ノ  
生産ノ中十五万俵ノ輸出ガアリマシタガ、  
最近ニ於キマシテハ大體ソレニ近ク六万乃  
至六万五千俵ト云ツテ居リマスガ、ソレダ  
ケノ輸出ガアリ、モウアトハ、九万俵デ戰  
前ニ追着クト云フ 非常ナ馬力ヲ掛ケテ居ル  
狀態デアリマス、ソレハドウシテサウ云フ  
コトニナツタカト云フ、軍及ビ興亞院ノ努  
力ニ依リマシテ各機械製絲其ノ他ノ蠶絲業  
者方統制ヲサレマシテ日華ノ國策會社デア  
ル華中蠶絲ニ統合サレタト言ハレテ居リマ  
ス、併シマダ租界ニ在ル所ノ「アメリカ」ノ  
意見ヲ申上ゲテ政府ノ答辯ヲ願ヒタイト思  
ヒマスガ、興亞院ノ方ハ來テ居ラレマスカ  
○高橋委員長 宇佐美部長ガ見エテ居リマ  
ス

ナイン大イニ困ツテ居ルノハ日本ニ於ケル所ノ輸出尙ホ困ツテ居ルノハ日本ニ於ケル所ノ輸出ノ關係デアル、輸出方面ニ於テハ日本ノ方ハ非常ニダラシガナイ、之ヲ統制シナケレバ日華ノ完全ナル經濟協力ハ望マレスカラリマスケレドモ、今日ハ日滿支ノ協同經濟體制ヲ整ヘテ行クコトガ此ノ時局收拾ノ唯ノ統制スルコトハ宜シクナイト言フ者モアリマスケレドモ、中ニハ支那ノ蠶絲業ハ自由ニサセテ置ケ、華中蠶絲ナドガ之ノ方針デアルト云フ確乎不動ノ方針ガ決マツタノデアリマスカラ、是ハ當然ヤラナケレバナラヌ、特ニ「ドイツ」アタリデハ「ハンガリー」ニ向ツテ彼ノ「ブンク」經濟相ハ農業新體制ヲ作ツテヤツテ居ルガ、アレナドヲ見テモ非常ニ規則正シク統制サレテ居ル、然ルニ日本ニ於テハ未ダ日華ノ連繫調整ト云フモノガ完全ニ行カナイ、支那ノ方ニ於テハ統制シテ行カナケレバナラヌト云フノニ、日本ハ輸出部門ダケハ切離シテ行カウト云フヤウナコトデハ、是ハ將來日華ノ蠶絲ノ調整發展ノ上ニ非常ナル支障ヲ来スコトト思フノデアリマス、斯ウ云フ點カラ見マシテモ私ハ此ノ輸出部門ヲ今回出マシタ所ノ蠶絲業統制法カラ切離シテ自由奔放ニサセテ置クト云フコトハ絶對相成ラスト思フ、此ノ點ニ付キマシテハ軍及ビ興亞院ニ於キマシテハ日高サン以來何回モ此ノ蠶絲調整ニ付テハ支那ニ於テモ統制シテ行クト云フコトヲ言明サレテ居ル、今日ト雖モ興亞院ハ此ノ方針ヲ私ハ變ヘテ居ラナイト思フカドウデスカ、私ハ質問ヲ繼續スルノニ必要デアリマスカラ、其ノ點ヲ興亞院ノ宇佐美サンカラ御聽キシタイト思ヒマス、ソレカラ今後ニ對スル御希望ヲモ承リタイ

ト思ヒマス

○宇佐美政府委員 横亞院ハ固ヨリ支那ヲ

代表シテ居ルモノデハナイノアリマシテ、日本ノ見地ニ立チ、廣ク東亞ノ共榮圈確立

ト云フ見地カラヤツテ居ル次第アリマス、

其ノ見地カラ致シマシテ從來興亞院ノ執ツテ居リマシタ蠶絲ニ關スル方針ハ變更ハゴ

ザイマセヌ、支那ノ蠶絲業ニ付キマシテハ

適當ニ調整ヲ加ヘテ行キタイト考ヘテ居ル

ノデアリマシテ、是ガ爲ニハ既ニ行ツテ居

リマス如ク、華中蠶絲ト云フヤウナ機關ニ

依リマシテ、事實上ノ統制ヲ漸次強化致シ

マシテ、結局ニ於テハ日本ト支那トノ間ニ

輸出ニ付テモ何等カノ一般的ノ取極メデモ

作ルト云フヤウナ方法ニ依ツテヤツテ行カ

ナケレバナラヌノデハナイカト考ヘテ居ル

次第アリマス

尙ホ内地ノ輸出ニ付キマシテ只今御意見

モアツタノデアリマスガ、是ハ興亞院ト致

シマシテ、彼此レ申スベキモノデナインオデ、

只今申シマシタ支那トノ調整ガ巧ク行ケバ、

ソレデ宜イ次第アリマス

○野壽委員 支那ニ於キマシテハ、華中蠶

絲ヲ中心ト致シマシテ、統制ヲ強化シテ行

ク積リデアルト云フ御所見デスカ、併シ日

本ノ蠶絲業ハ我レ關セズ焉ト云フヤウナ御

答辯ノヤウニ承ツテ居ルノデアリマスガ、

サウ云フ意味デスカ

○宇佐美政府委員 關セズ焉ト云フ譯デハ

ナイノデアリマスガ、吾々ハ支那ノ方ヲヤ

ツテ居リマス、政府ノ立場ト致シマシテハ、

内地ノ問題ハ農林省ノ關係デゴザイマス、

私トシテ彼此レ本席ニ於テ申上ガルコトハ

差控ヘタイト思ヒマス

○野壽委員 サウ云フヤウニ解釋サレテハ

困ルノデアリマス、勿論此ノ輸出ニ對シマ

シテハ、アナタノ仰シヤル通り、日支ハ東

亞共榮圈ノ確立ニ於テモ提携シテ行カナケ

レバナラヌノデアリマシテ、内地ノ動キ、

支那ノ動キ、ソレカラ對外的動キト云フモ

ノハ、是ハ日支協力シテ、共同戰線の行爲

ヲ取ラスト、一方的デハ分派的ニナツテ、

拙クナルト云フコトヲ先程來私ハ言フテ居

ルノデアリマス、ソレニ付テアナタノ監督

サレテ居ル支那ニ於キマシテハ、華中蠶絲

ガ段々統制ガ取レテ來テ、非常ニ良クナツ

テ來タ、ケレドモ本家本元ノ日本ガマダ輸

出ノ方ダケ自由ニシテ置カウト云フ法案ヲ

出シテ居ル、サウスルト、アナタノ監督サ

レテ居ル支那ニ向ツテ非常ニヤリニククナ

ル、政府ノ主務官廳ハ農林省アルガ、ア

ナタノ方ハ、支那トノ關係ガ東亞共榮圈ニ

於テ、表裏一體ノ關係ニ於テ一致シテ居ル

ノデアルカラ、斯ウ云フ點ニ付テ農林省ト

興亞院ガ本當ニ壯ヲ合セテヤツテ貴ハナケ

レバナラヌト思フ、此ノ點ニ對シテ先程字

佐美サンガ御答辯サレテ居ル通り、支那デ

ハ漸次統制ヲ強化シテ行カウト云フ一貫シ

タ御方針デアル、シテ見ルト、此ノ本家ノ

日本ガマダハツキリシタ統制ヲシナインオデ

アリマスカラ、此ノ點ニ付テ支那ノ方面ト

シテモ、色々意見モアルヤウニ思フ、内地

ノ統制ヲ完全ニシテ貴ヒタ云フ意見ガ

相當アルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付

テ農林省トシテ、アナタノ方デハ一貫統制

ヲ急イデ、積極的ニヤツテ貴ツタ方ガ宜イ

ト云フ御意見ナリ、御希望ガオアリナラバ、

此處デ御發表願ヒタイ、併シ農林省ガアル

ノダカラ、吾々ハソレハ構ハヌ、或ハ農林省

ニ任シテアルカラ、コツチハ何トモ言フ譯

デナイト云フナラバ、致シ方ナイガ、支那

側ノ監督ノ立場ニアルアナタノ御意見ヲ聽

カシテ戴ケルナラバ、非常ニ好都合ト存ジ

マス

○宇佐美政府委員 支那ノ蠶絲ノ統制ニ付

キマシテハ、其ノ方針ハ只今申上ゲマシタ

ヤウナ次第アリマスルガ、實情ヲ申シマ

スレバ、マダ支那ノ蠶絲ノ統制ノ必要上、

内地ノ統制ヲ斯ウシナケレバナラスト云フ

所マデ、事實進ンデハ居ラナイト吾々ハ見

テ居ルノデアリマス、將來支那ノ蠶絲ノ統

制ガ更ニ整ヒマシテ、日本トノ間ニ一般的

ナ取極メデモ出來ルト云フコトニナリマス

レバ、其ノ際ニハ又ソレニ應ジタ處置ヲ内

地デ執ルト云フコトハ、當然必要ニナツテ

來ルグラウト考ヘルノデアリマス、併シ其

ノ場合ニドウ云フ風ナ處置ガ必要ニナルダ

ラウカト云フコトハ、マダ今日分ラナイノ

デアリマス、サウ云フ次第アリマスカラ、

私共現在ノ支那ノ蠶絲ノ統制ト云フ關係カ

ラ見マスル時ニ、今日提出サレテ居リマス

ル統制法案ニ依ツテ差支ヘガナイ、斯ウ云

フ風ニ吾々ハ見テ居ルノデアリマス、將來

ノ問題ヘ、只今申上ゲマシタヤウニ、將來

支那ノ輸出部門ノ統制ヲ強化シテ行クノニ

當然又サウアツテ貴ハナケレバナラヌ、吾

レバイケナイ、是ハ何んモ左様ニ考ヘテ居

サウシマスト、吾々ノ聞イタ限リニ於テハ、

ラレルヤウデアリマス、日本側カラ見レバ

出生絲ハ一元統制ヲ益、強化シテ行カナケ

ス

○野壽委員 生絲輸出ニ關シマシテ、政府

ノ御所見ト致シマシテハ、大體從來ノ輸出

サウ云フコトデ永クヤツテ行ケルトハ思ハ

レナイ、ソレダカラ支那ノ輸出生絲ノ一元

リマスガ、私ノ意見ハソレニ對シテハ反對デ

アルト云フコトヲ今マデ縷々述べテ來タノデ

用意ガナクテハイケナイト云フコトヲ私聽

サンノ御答辯ニ依リマスルト、意見ノ相違

ノ如クニ言ハレテ居リマス、私ハ此ノ問題

ニ對シマシテハ、次官或ハ大臣等ノ御意見

ニ御願ヒシテ置キマスガ、アナタノ意見ハ、

ニ御願ヒシタイト思ヒマスノデ、只今御見

エニナラヌヤウデアリマスカラ、蠶絲局長

ニ御願ヒシタイト思ヒマス

○助川委員 一寸關聯シテ……、諄イヤウ

地ガアルト云フ風ニ私見受ケテ居リマス、

ニ御願ヒシタイト思ヒマス

シテ、輸出業ノ自由取引ト云フヤウナ點ニ

云フ風ニモ御見受ケシナイ、相當考慮ノ餘

對シマシテハ考慮ヲ煩ハシテ、此ノ點ダケ

ノ質問ハ打切りタイト思ヒマス

○助川委員 一寸關聯シテ……、諄イヤウ

アリマスルガ、此ノ際興亞院ノ御意見ヲ御

來ルグラウト考ヘルノデアリマス、私共蠶絲

關係ノ人達ノ意見ヲ聽キマスト、支那ノ輸

出生絲ハ一元統制ヲ益、強化シテ行カナケ

ス

當然又サウアツテ貴ハナケレバナラヌ、吾

レバイケナイ、是ハ何んモ左様ニ考ヘテ居

サウシマスト、吾々ノ聞イタ限リニ於テハ、

ラレルヤウデアリマス、日本側カラ見レバ

支那ノ輸出部門ノ統制ヲ強化シテ行クノニ

置ク、自由放任シテ置ク、サウ云フ形デ支

那ダケノ一元統制ヲ益、強化シテ貴ヒタ

ト言ツテモ、ソレハ非常ニ困難デアル、今

軍ノ色々ナ御努力ヲ戴イテ居ルノデアルガ、

ノ御所見ト致シマシテハ、大體從來ノ輸出

サウ云フコトデ永クヤツテ行ケルトハ思ハ

レナイ、ソレダカラ支那ノ輸出生絲ノ一元

リマスガ、私ノ意見ハソレニ對シテハ反對デ

アルト云フコトヲ今マデ縷々述べテ來タノデ

用意ガナクテハイケナイト云フコトヲ私聽

カサレテ居ルノデアリマスガ、今ノ野溝君ノ質問ニ對シテノ御答辯デアリマスト、支那ハ段々強化シテ行クノダ、併シ日本ハ今ノ儘デ宜イノダ、サウシテ是カラ先ニナツテ考ヘテ宜イノダト云フヤウナ御話デアリマスト、ソレガ興亞院ノ御方針デアルトスレバ、支那ノ蠶絲業ニ關係シテ居ル方達ノ意見ト非常ニ違フヤウニ私共思フノデアリマスト、ソレデ今御伺ヒシタヤウニ、支那ノ蠶絲業ハ益統制ヲ強化シテ行ク、併シ日本ハ自由放任デ野放圖ニシテ置イテ、ソレデ支那ノ蠶絲業ニハ心配ハナイノダ、サウ云フ御考ナノデアリマスカ、是ハ非常ニ重大大問題デアリマス、今後ノ日本ト支那トノ色々問題ニ對シテノ關係ヲ考ヘル上ニ、私共ハ多クノ問題ニ對シテ協調ハサマデ困難デナイト思フ、併シ主ニ問題ニナルノハ蠶絲業トオ茶デス、蠶絲業ハオ茶ヨリモ更ニ大キナ問題デアル、蠶絲業ハ何處ニ於テ問題ガアルカト云フト、輸出部門デス、支那ノ國內デ生絲ノ値段ガ幾ラ高クナラウトモ、ソレガ又支那ノ國內ニ於テ需給關係ガ下ウナルカト云フト、輸出部門デス、支那ノ國内部門デアリマス、輸出部門ハ日本モ一元的統制ガ出来、支那モ一元的統制ガ出来、ハ關係ノナイコトデアリマス、唯問題ハ輸出部門デアリマス、輸出部門ハ日本モ一元

會トシテ議事ノ進行上ニ付テハ各方面ニ於テ特別ノ關心ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、其ノ例ハ舉ゲルマデモナカラウト思フ、昨日カラノ質問ヲ拜聽致シマシテ、同一問題ニ付テ政府ノ答辯既ニ三回、同ジ問題ヲ二回モ繰返サレテ居ル、此ノ問題ノ重要點ハ其ノ一點ニアルト云フコトモ、是モ分ツテ居ル、其ノ際ニ當ツテ關聯シテ質問ヲスルト云フコトニナツクナラバ際限ガナカラウト思フ、一々關聯シタル質問ヲ取上げテ發言スルト云フコトニナツクナラバ、委員長ハ此ノ發言者ニ對シテ今後ノ發言ハドウスルカト云フ問題モ出テ來ナケレバナラズ、二十七名ノ委員ハ全部發言シナケレバナラヌ重要ナ案件ヲソレノ皆持ツテ居ルノデアル、而モ翼賛議會トシテ相當ニ戒心センケレバナラヌ狀況ニナツテ居ル、一刻モ早く政府原案ガドウナルカト云フヤウナ問題ニナリ——議會ヲ一刻モ早ク休會セシメテ、而シテ對外的ニ國內統一ガ現ハレナケレバナラヌト云フヤウナ狀況ニ強調サレテ居ル際ニ當ツテ、委員長ハ議事ノ進行上ニ付テ如何ナル御考ヘヲ以テヤツテ居ラレルカ、而モ政府ノ答辯ガ同ジ問題ニ付テ三回モ同一ナル問題ヲ繰返シテ居ル、答辯スル方ニ於テモ答辯スルモノデアル、ソレデ問題ニ付テ、日本ト支那トノ蠶絲業ノ連絡調整ヲドサウナツテ初メテ連絡調整モ出來ル譯デアリマス、私ハ東亞共榮圈ノ將來ノ問題トシテ、日本ト支那トノ蠶絲業ノ連絡調整ヲドウスルカ、更ニ進ンデ言フナラバ此ノ輸出部門ヲドウスルカト云フコトガ極メテ重大ナ問題デアリマス、ドウモ今ノ御話ヲ聽イヤウスルカ、獨リ本問題ニ付テノミ何日モ何考ヘガ私ハ餘リニ物足リナイヤウニ思フノデス、ソレデ重ネテ御伺ヒシタイト思ヒマ

○松岡委員 議事進行ニ關シテ……翼賛議會トシテ議事ノ進行上ニ付テハ各方面ニ於テ特別ノ關心ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、其ノ例ハ舉ゲルマデモナカラウト思フ、昨日カラノ質問ヲ拜聽致シマシテ、同一問題ニ付テ政府ノ答辯既ニ三回、同ジ問題ヲ二回モ繰返サレテ居ル、此ノ問題ノ重要點ハ其ノ一點ニアルト云フコトモ、是モ分ツテ居ル、其ノ際ニ當ツテ關聯シテ質問ヲスルト云フコトニナツクナラバ際限ガナカラウト思フ、一々關聯シタル質問ヲ取上げテ發言スルト云フコトニナツクナラバ、委員長ハ此ノ發言者ニ對シテ今後ノ發言ハドウスルカト云フ問題モ出テ來ナケレバナラズ、二十七名ノ委員ハ全部發言シナケレバナラヌ重要ナ案件ヲソレノ皆持ツテ居ルノデアル、而モ翼賛議會トシテ相當ニ戒心センケレバナラヌ狀況ニナツテ居ル、一刻モ早く早く政府原案ガドウナルカト云フヤウナ問題ニナリ——議會ヲ一刻モ早ク休會セシメテ、而シテ對外的ニ國內統一ガ現ハレナケレバナラヌト云フヤウナ狀況ニ強調サレテ居ル際ニ當ツテ、委員長ハ議事ノ進行上ニ付テ如何ナル御考ヘヲ以テヤツテ居ラレルカ、而モ政府ノ答辯ガ同ジ問題ニ付テ三回モ同一ナル問題ヲ繰返シテ居ル、答辯スル方ニ於テモ答辯スルモノデアル、ソレデ問題ニ付テ、日本ト支那トノ蠶絲業ノ連絡調整ヲドウスルカ、更ニ進ンデ言フナラバ此ノ輸出部門ヲドウスルカト云フコトガ極メテ重大ナ問題デアリマス、ドウモ今ノ御話ヲ聽イヤウスルカ、獨リ本問題ニ付テノミ何日モ何考ヘガ私ハ餘リニ物足リナイヤウニ思フノデス、ソレデ重ネテ御伺ヒシタイト思ヒマ

○宇佐美政府委員 只今ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、興亞院ト致シマシテハ吾々支那ノ蠶絲業ノ日本ニ對スル影響ノ重大ナルコトヲ十分ニ認識ヲ致シテ居リマス、極メテ重大ナル問題デアルト云フコトヲ考ヘマシテ絶エズ此ノ問題ニ對シテ善處スルヤウニ付キマシテハ、私共トシテハ今日ノ支那ノ蠶絲業ノ關係ト云フ見地カラ見マスル時ニ、未ダ輸出統制ト申シマスルカ、只今御話ノヤウナ點マデ内地ガ行カナケレバナラスト云フ狀態ニハ立至ツテ居ルトハ考ヘテ安心得願ヒマス、サウシテ輸出統制ノ點ニ付キマシテハ、私共トシテハ今日ノ支那ノ蠶絲業ノ關係ト云フ見地カラ見マスル時ニ、未ダ輸出統制ト申シマスルカ、只今御話ノヤウナ點マデ内地ガ行カナケレバナラスト云フ狀態ニハ立至ツテ居ルトハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、併シ將來必要ガ出来ナイト私ハ斷言致シタ次第デハゴザイマス、其ノ「ポン」ノミヲ捉ヘテ御話ニナカルト云フコトモ議事ノ上カラ已ムヲ得ナイノデハナイカ、初メノ内ハ多少御趣旨ガナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、益御協力ヲ願ハナケレバナラスト思ヒマスルガ、問題ガ非常ニ廣汎ニ瓦ル蠶絲業全體ニ關スル問題デアリマスルカラ、隨テ疑問トスル點ガ多アリマス、獨リ本問題ニ付テハ戒飭ヲシテオ互ニナカルト云フコトモ議事ノ上カラ已ムヲ得ナイノデハナイカ、初メノ内ハ多少御趣旨ガナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、益御協力ヲ願ハナケレバナラスト思ヒマスルガ、問題ガ非常ニ廣汎ニ瓦ル蠶絲業全體ニ關スル問題デアリマスルカラ、隨テ疑問トスル點ガ多アリマス、獨リ本問題ニ付テハ戒飭ヲシテオ互ニナカルト云フコトモ議事ノ上カラ已ムヲ得ナイノデハナイカ、初メノ内ハ多少御趣旨

マス  
○野瀬委員 興亞院ノ方ハソレダケニ致シ

的ナ傾向ニナル虞ガアリハセヌカト云フコトヲ憂慮スルノデアリマス、政府ニ於キマ

今日釜數整理ヲスルニ當リマシテハ、大體堅持シテ居ラレルデセウカ

○吉田政府委員 現在新免許ヲ致シマスル

免許基準ト致シマシテ、百五十釜以上ト云

シテ居ルノデアリマスカラ、ソレハ其ノ通り

フコトニナツテ居リマス、ソレハ其ノ通り

シテ居ルノデアリマスカラ、百五十釜ヲ單

ノ確保ト云フコトノ調整ガ取レバ今後ノ

製絲家トシテノ安定確保ガ出來ルノデアル、

健全性ガ保テルノデアルト云フコトヲ言

ツテ居リマスガ、ソレハ一ツノ大義名分ト

申シマセウカ、其ノ底ヲ流レルモノハ操絲

技術、製絲設備、ソレカラ原料ノ確保ト云

フ此ノ二大條件ヲ確保出來ルモノハ、今ノ

統制法ノ内容カラ見ルト、恐ラク私ハ大キ

ナ製絲家デ、是ガ非常ニ有利ナ條件ヲ持ツ

コトニナルト思フ、シテ見ルト政府ノ考ヘ

トシテ成ベク蠶業ヲ調整シテ農家ノ生活ノ

相當時スルコトヲ目的トシテ居リマスガ、

安定ヲ期スルノデハナイカト

思ヒマス、中小製絲方面カラ見ルナラバ、全國

十九万釜ノ中統計ニ現ヘレタ十二万釜ト云フ

モノハ殆ド三百釜以下ノ中小製絲家ガ多イ

ノデアリマス、此ノ製絲ノ連中ハ其ノ釜數整理

ニ當リマシテ、政府ノ出シテ居ル意見トシテ

ハナイデセウケレドモ、相當政府ノ息ガ掛ツテ

居ルノデハナイカ、製絲聯合會アタリノ方

針ヲ見マスト、三百釜ヲ單位ニ單獨配給ヲ

シテ居ルノデアリマスガ、今御話ノ詳シイコ

トハ、私ハマダ實ハ知ツテ居ラナイノデア

リマスガ、業界ノ方デ色々ナ利害關係等モ

考慮サレマシテ、餘り無理ノナイヤウニ、

全體ノ營業者ノ意見ガ一致シテ居ルコトデ

アリマスナラバ、政府トシテハ出來ル限り

纏マツタ意見ニ即シテ應援スペキ所ハ應援

シテ行キタイト考ヘテ居リマス、今ノ三百

釜分ノ問題ハ、私モ實ハマダ詳シク知ラヌ

ノデ、茲ニ申上ゲ兼ネルコトヲ残念ニ思ヒ

マス

ハサウ云フ意味ニハ見テ居リマセヌ、少ク

法ニ依ル所ノ百五十釜、アレハ今日ト雖モ

トヲ憂慮スルノデアリマス、政府ニ於キマ

シテハ今後ノ製絲家ト云フモノハ商業利潤

ハイカヌ、大體ニ於テ製絲設備ト生產原料

ノ確保ト云フコトノ調整ガ取レバ今後ノ

マシテ、昨日最上委員カラモ質問ガアツタ

ト思フノデアリマスガ、尙ほ掘リ下ゲテ質問

ヲシテ置キタイ點ガ二三アルノデアリマス、

居リマシタ、大體今度ノ蠶絲統制ニ依リマス

ト、恐ラク政府ハ七万釜位ハ整理スルノデヤ

ナイカト云フヤウナコトヲ言ハレテ居リマ

スガ、私ノ調べニ依リマスト、恐ラク八万釜

以上ニナルノデハナイカト思ヒマス、大體一

釜一日平均二百四十匁ノ絲ヲ挽クト致シマ

シテ、之ヲ三百日操業サセルト、約五百七八

十貫ト云フモノガ一ツノ釜デアルノデアリ

マス、產繭八千万貫トスルト十二万餘釜デ

間ニ合フ、約今日ノ十九万釜ニ對シ、七万釜

以上ノ釜數減ヲシナケレバナラスト思ヒマ

ス、尙ホ其ノ外ニ新用途ノ繭ノ爲ニ釜數ガ段

段要ラヌコトニナリマスカラ、是モ減ルシ、

ソレカラ失業者ト言ヒマセウカ、收入ノ方ノ

點カラ見テ割合ニ女工サンナドモ逃避スル

ケレドモ、實際ニハ以上ノヤウナ傾向ニア

ルノデアリマス、併シ此ノ傾向ハ蠶絲業界

法ニ依ル所ノ百五十釜、アレハ今日ト雖モ

トヲ憂慮スルノデアリマス、政府ニ於キマ

シテハ今後ノ製絲家ト云フモノハ商業利潤

ハイカヌ、大體ニ於テ製絲設備ト生產原料

ノ確保ト云フコトノ調整ガ取レバ今後ノ

マシテ、昨日最上委員カラモ質問ガアツタ

ト思フノデアリマスガ、尙ホ掘リ下ゲテ質問

ヲシテ置キタイ點ガ二三アルノデアリマス、

居リマシタ、大體今度ノ蠶絲統制ニ依リマス

ト、恐ラク政府ハ七万釜位ハ整理スルノデヤ

ナイカト云フヤウナコトヲ言ハレテ居リマ

スガ、私ノ調べニ依リマスト、恐ラク八万釜

以上ニナルノデハナイカト思ヒマス、大體一

釜一日平均二百四十匁ノ絲ヲ挽クト致シマ

シテ、之ヲ三百日操業サセルト、約五百七八

十貫ト云フモノガ一ツノ釜デアルノデアリ

マス、產繭八千万貫トスルト十二万餘釜デ

間ニ合フ、約今日ノ十九万釜ニ對シ、七万釜

以上ノ釜數減ヲシナケレバナラスト思ヒマ

ス、尙ホ其ノ外ニ新用途ノ繭ノ爲ニ釜數ガ段

段要ラヌコトニナリマスカラ、是モ減ルシ、

ソレカラ失業者ト言ヒマセウカ、收入ノ方ノ

點カラ見テ割合ニ女工サンナドモ逃避スル

ケレドモ、實際ニハ以上ノヤウナ傾向ニア

ルノデアリマス、併シ此ノ傾向ハ蠶絲業界

法ニ依ル所ノ百五十釜、アレハ今日ト雖モ

トヲ憂慮スルノデアリマス、政府ニ於キマ

シテハ今後ノ製絲家ト云フモノハ商業利潤

ハイカヌ、大體ニ於テ製絲設備ト生產原料

ノ確保ト云フコトノ調整ガ取レバ今後ノ

マシテ、昨日最上委員カラモ質問ガアツタ

ト思フノデアリマスガ、尙ホ掘リ下ゲテ質問

ヲシテ置キタイ點ガ二三アルノデアリマス、

居リマシタ、大體今度ノ蠶絲統制ニ依リマス

ト、恐ラク政府ハ七万釜位ハ整理スルノデヤ

ナイカト云フヤウナコトヲ言ハレテ居リマ

スガ、私ノ調べニ依リマスト、恐ラク八万釜

以上ニナルノデハナイカト思ヒマス、大體一

釜一日平均二百四十匁ノ絲ヲ挽クト致シマ

シテ、之ヲ三百日操業サセルト、約五百七八

十貫ト云フモノガ一ツノ釜デアルノデアリ

マス、產繭八千万貫トスルト十二万餘釜デ

間ニ合フ、約今日ノ十九万釜ニ對シ、七万釜

以上ノ釜數減ヲシナケレバナラスト思ヒマ

ス、尙ホ其ノ外ニ新用途ノ繭ノ爲ニ釜數ガ段

段要ラヌコトニナリマスカラ、是モ減ルシ、

ソレカラ失業者ト言ヒマセウカ、收入ノ方ノ

點カラ見テ割合ニ女工サンナドモ逃避スル

ケレドモ、實際ニハ以上ノヤウナ傾向ニア

ルノデアリマス、併シ此ノ傾向ハ蠶絲業界

法ニ依ル所ノ百五十釜、アレハ今日ト雖モ

トヲ憂慮スルノデアリマス、政府ニ於キマ

シテハ今後ノ製絲家ト云フモノハ商業利潤

ハイカヌ、大體ニ於テ製絲設備ト生產原料

ノ確保ト云フコトノ調整ガ取レバ今後ノ

マシテ、昨日最上委員カラモ質問ガアツタ

ト思フノデアリマスガ、尙ホ掘リ下ゲテ質問

ヲシテ置キタイ點ガ二三アルノデアリマス、

居リマシタ、大體今度ノ蠶絲統制ニ依リマス

ト、恐ラク政府ハ七万釜位ハ整理スルノデヤ

ナイカト云フヤウナコトヲ言ハレテ居リマ

スガ、私ノ調べニ依リマスト、恐ラク八万釜

以上ニナルノデハナイカト思ヒマス、大體一

釜一日平均二百四十匁ノ絲ヲ挽クト致シマ

シテ、之ヲ三百日操業サセルト、約五百七八

十貫ト云フモノガ一ツノ釜デアルノデアリ

マス、產繭八千万貫トスルト十二万餘釜デ

間ニ合フ、約今日ノ十九万釜ニ對シ、七万釜

以上ノ釜數減ヲシナケレバナラスト思ヒマ

ス、尙ホ其ノ外ニ新用途ノ繭ノ爲ニ釜數ガ段

段要ラヌコトニナリマスカラ、是モ減ルシ、

ソレカラ失業者ト言ヒマセウカ、收入ノ方ノ

點カラ見テ割合ニ女工サンナドモ逃避スル

ケレドモ、實際ニハ以上ノヤウナ傾向ニア

ルノデアリマス、併シ此ノ傾向ハ蠶絲業界

法ニ依ル所ノ百五十釜、アレハ今日ト雖モ

トヲ憂慮スルノデアリマス、政府ニ於キマ

シテハ今後ノ製絲家ト云フモノハ商業利潤

ハイカヌ、大體ニ於テ製絲設備ト生產原料

ノ確保ト云フコトノ調整ガ取レバ今後ノ

マシテ、昨日最上委員カラモ質問ガアツタ

ト思フノデアリマスガ、尙ホ掘リ下ゲテ質問

ヲシテ置キタイ點ガ二三アルノデアリマス、

居リマシタ、大體今度ノ蠶絲統制ニ依リマス

ト、恐ラク政府ハ七万釜位ハ整理スルノデヤ

ナイカト云フヤウナコトヲ言ハレテ居リマ

スガ、私ノ調べニ依リマスト、恐ラク八万釜

以上ニナルノデハナイカト思ヒマス、大體一

釜一日平均二百四十匁ノ絲ヲ挽クト致シマ

シテ、之ヲ三百日操業サセルト、約五百七八

十貫ト云フモノガ一ツノ釜デアルノデアリ

マス、產繭八千万貫トスルト十二万餘釜デ

間ニ合フ、約今日ノ十九万釜ニ對シ、七万釜

以上ノ釜數減ヲシナケレバナラスト思ヒマ

ス、尙ホ其ノ外ニ新用途ノ繭ノ爲ニ釜數ガ段

段要ラヌコトニナリマスカラ、是モ減ルシ、

ソレカラ失業者ト言ヒマセウカ、收入ノ方ノ

點カラ見テ割合ニ女工サンナドモ逃避スル

ケレドモ、實際ニハ以上ノヤウナ傾向ニア

ルノデアリマス、併シ此ノ傾向ハ蠶絲業界

法ニ依ル所ノ百五十釜、アレハ今日ト雖モ

トヲ憂慮スルノデアリマス、政府ニ於キマ

シテハ今後ノ製絲家ト云フモノハ商業利潤

ハイカヌ、大體ニ於テ製絲設備ト生產原料

ノ確保ト云フコトノ調整ガ取レバ今後ノ

マシテ、昨日最上委員カラモ質問ガアツタ

ト思フノデアリマスガ、尙ホ掘リ下ゲテ質問

ヲシテ置キタイ點ガ二三アルノデアリマス、

居リマシタ、大體今度ノ蠶絲統制ニ依リマス

ト、恐ラク政府ハ七万釜位ハ整理スルノデヤ

ナイカト云フヤウナコトヲ言ハレテ居リマ

スガ、私ノ調べニ依リマスト、恐ラク八万釜

以上ニナルノデハナイカト思ヒマス、大體一

釜一日平均二百四十匁ノ絲ヲ挽クト致シマ

シテ、之ヲ三百日操業サセルト、約五百七八

十貫ト云フモノガ一ツノ釜デアルノデアリ

マス、產繭八千万貫トスルト十二万餘釜デ

間ニ合フ、約今日ノ十九万釜ニ對シ、七万釜

以上ノ釜數減ヲシナケレバナラスト思ヒマ

ス、尙ホ其ノ外ニ新用途ノ繭ノ爲ニ釜數ガ段

段要ラヌコトニナリマスカラ、是モ減ルシ、

ソレカラ失業者ト言ヒマセウカ、收入ノ方ノ

點カラ見テ割合ニ女工サンナドモ逃避スル

ケレドモ、實際ニハ以上ノヤウナ傾向ニア

ルノデアリマス、併シ此ノ傾向ハ蠶絲業界

法ニ依ル所ノ百五十釜、アレハ今日ト雖モ

トヲ憂慮スルノデアリマス、政府ニ於キマ

シテハ今後ノ製絲家ト云フモノハ商業利潤

ハイカヌ、大體ニ於テ製絲設備ト生產原料

ノ確保ト云フコトノ調整ガ取レバ今後ノ

マシテ、昨日最上委員カラモ質問ガアツタ

ト思フノデアリマスガ、尙ホ掘リ下ゲテ質問

ヲシテ置キタイ點ガ二三アルノデアリマス、

居リマシタ、大體今度ノ蠶絲統制ニ依リマス

ト、恐ラク政府ハ七万釜位ハ整理スルノデヤ

ナイカト云フヤウナコトヲ言ハレテ居リマ

スガ、私ノ調べニ依リマスト、恐ラク八万釜

以上ニナルノデハナイカト思ヒマス、大體一

釜一日平均二百四十匁ノ絲ヲ挽クト致シマ

シテ、之ヲ三百日操業サセルト、約五百七八

十貫ト云フモノガ一ツノ釜デアルノデアリ

マス、產繭八千万貫トスルト十二万餘釜デ

間ニ合フ、約今日ノ十九万釜ニ對シ、七万釜

以上ノ釜數減ヲシナケレバナラスト思ヒマ

ス、尙ホ其ノ外ニ新用途ノ繭ノ爲ニ釜數ガ段

段要ラヌコトニナリマスカラ、是モ減ルシ、

ソレカラ失業者ト言ヒマセウカ、收入ノ方ノ

點カラ見テ割合ニ女工サンナドモ逃避スル

&lt;p

トモ製絲業ノ免許ヲサレルト云フコトハ、政府モ此ノ位ナラバ製絲設備モ宜シイシ、又資本關係ニ於テモ或ハ技術ノ方面ニ於テモ經營上ニ於ケル所ノ能力アルモノト云フ觀點ニ立ツテ其ノ單位ヲ決メラレタモノト私ハ思フ、シテ見ルト如何ニ今度蠶絲業ガ正シイ統制ヲヤル、大蠶絲統制策ヲ立テルニ當リマシテモ、其ノ基本單位ハ今日ノ製絲業ノ基本精神ト云フモノト——是ハ製絲經營ト云フモノニ對シテハ變リマスケレドモ、製絲業ト云フ其ノ實體ニ於テハ私ハ變ラヌト思ヒマス、サウ云フ點ニ於キマシテ單位ヲ三百釜以上ト云フヤウナ大製絲家中心主義ノモノヨリモ、是カラ新纖維即チ短纖維或ハ國用ト云フ方面ニ、輸出ヨリモ積極的ニ國策ガ向ハナケレバナラヌ蠶絲方針デアリマスカラ、三百釜以下ノ國用製絲或ハ新用途ニ向フ製絲家、サウ云フモノヲベク重用シテ行カナケレバナラヌ、私ガ茲ニ言フ重點主義ト云フノハ、輸出節制、國內使用ノ重點主義ヲ取レト云フコトヲ私ハ絶叫スル者デアリマス、ソコデ申上ゲルノデアリマスガ、左様ニ考ヘテ行キマスト然ラバ何デモ彼デモ宜イカラ十二万釜ヲ持ツテ居ル中小製絲業ヲ普遍的ニ扱フト云フノハ無理デアル、ソレハ統制ノ意ニ反スルノデアル、サウ云フ出鱈目ト暴言ハ致サナイ積リデアリマス、兎ニ角政府ガ是ナラバ正シイ、此ノ位ナラバ製絲業ヲヤツテ行ケルト云フ大體ノ基本方針ヲ立テラレテ居ルノデアリマスカラ、全國ノ製絲業者モマア大體百五十釜ヲ配給單位ト云フヤウニ考ヘテ居ル、ソレガ三百釜ト云フヤウナ風來坊ガ何處カラ出テ來タカ知リマセヌガ、何處ノ權力カ金力ガ發動サレタカ知リマセヌガ、

ココニ私ハ遺憾ノ點ガアルト思フ、斯ウ云  
フ點ヲ考ヘルナラバ今後釜數ノ整理統合ニ  
當リマシテハドウカ一ツ考ヘテ戴キタイト  
ダト思ヒマス、ソレデハ百五十釜ヲ同ジ所  
ニ幾ツモ置イテ宜イカト云フコトハ、產繭  
ノ集荷關係トカラビノ關係ガアリマシテ中  
中簡單ニハ行カヌト思ヒマスカラ、ソレハ  
分布調整ノ關係モ睨ミ合ハセナケレバナラ  
スノデアリマス、要スルニ政府ノ言フコト  
ヲ聽キマシテ、能率ヲ上ゲロト云フカラニ  
百四十匁平均ノ操絲量ヲ三百匁モ三百三十  
匁モ換イテ居ル、サウシテ設備改善指導技  
術經營ト云フコトニ付キマシテハ、本當ニ  
政府ノ期待ト方針ニ副ツテ居ルヤウナ百五  
十釜内外ノ製絲家モアルノデアリマス、斯  
ウ云フモノニ對シマシテハ相當考ヘテ貰ハ  
ナケレバナラヌノデアリマス、唯三百釜ナ  
ラバ宜イト云フ考ヘ方デナク、政府ノ方針  
ニ從ツテ本當ニサウ云フ能率ヲ上ゲテ來タ  
製絲家モアルノデアリマス、兎ニ角サウ云  
フモノニ對シテハ政府ハマダ其ノ點ハハツ  
キリ致サヌヤウデアリマスカラ、是レ以上  
私ハ釜數ノコトハ聽キマセヌガ、サウ云フ  
能率ヲ上ゲテ居ルモノニ對シテハ、今後釜  
數整理ヲサレル場合ニ一體ドウ云フ風ニ御  
考ヘニナルカ、釜數整理統合ニ當リマシテ  
モ、操絲能率トカ、或ハ乾繭設備ヲ持ツテ  
居ルトカ、操絲優秀技術ヲ持ツテ居ルトカ、  
非常ニ整ツテ居ル製絲家、サウ云フモノニ  
對シマシテハ將來ドウ云フ風ニヤツテ行カ  
ウト云フ御考ヘラ持ツテ居ラレルカ、一ツ  
御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、非常ニ機微  
ニ觸レタコトデアリマスカラ率直ニ御答ヘ願

○吉田政府委員 釜敷整理ノ問題ニ付キマシテハ、サツキ申上ゲタ通リ業者ノ方ニ於テ自治的ニ計畫ヲ立テ相談ヲ致シテ居ルノ來得ル限リ業者ノ意見ノ纏マツタ所ヲ尊重シテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、能ク考ヘマシタ上デ、出デアリマスガ、野溝サンノ御話ハ共同施設組合ヲ作ラセル問題カト思ツタノデアリマス、釜敷整理ト仰シヤルカラ私モ少シ分ナカツタノデアリマスガ、此ノ會社ガ一手ニ繭ヲ買ヒマシテ、製絲業者ニ配給致シマス爲ニ、此ノ會社ガ一手デヤリマスカラ、非常ニ小口ノ小サイ一人々々ノ何十貫、何百貫ト云フモノマデ購入スルノデハ、面倒デ手數ガ掛ツテ困ルカラ、製絲業者ノ小サイン達ガ、或ハ地域的ニ或ハ同ジ程度ノ製絲家ハ成ベク纏マツテ——設備ヲ合同スルマデモアリマセヌガ、共同購入のニ纏ヌテ、數ヲ少クシテ、大口ニ配給出來ルヤウナ體制ヲ整ヘテ貰ヒタイト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ三百釜ト云フ御話ガ出タノダラウト思ヒマス、要スルニ今日小サイ製絲家ガアリマスト、一人々々ニ繭ヲ公平ニ配給スルト云フコトハ非常ニ手數ガ掛ルカラ、出來得ル限リ纏メテ、所謂共同購入のノ小組合ノヤウナモノヲ作ツテ、一つ大口ニ一手デ買ツテ貰ヒタク、サウ云フ風ニシテ貴ハナケレバ困ル、要スルニ小サイ製絲業者ハ纏マツテ貰ヒタク、其ノ纏マリ方ハドノ程度カト云フコトデ、三百釜數位纏マルガ宜カラウト云フ話ガアルノデアリマシテ、ソレハ必ずシモ三百釜デナケレバナラスト云フコトハナ

イノデアリアマシテ、五百釜、七百釜ニナツ  
テモ宜イノデアリマス、要スルニ企業ヲ統  
一スルノデハナイ、此ノ會社カラ繩ヲ配給  
スル時ニ相手方ガ非常ニ小サク數ガ多イト  
非常ニ面倒ガ起リ、手數ガ掛リ、且又不公  
平ノ分ケ方ト云フコトモアリマスノデ、ソ  
レヲ申シテ居ルノデアリマス、其ノ御話ノ  
ヤウデアリマスガ、先程一寸私モ感違ヒ致  
シマシタノデ訂正致シマス

○野瀬委員 吉田サンノ御答辯ハ「ボイン  
ト」ニ觸レナインオデアリマシテ、アナタハ  
非常ニ大事ヲ取ツテ居ラレルノデスガ、コ  
コガ私ハ重大ナノデ、私ハザツクバランニ  
話シテ居ル、業者ノ意思ノ纏マツタ所デ決  
メテ行クト云フコトハ洵ニ結構デアリマス  
ガ、業者ノ意思ト言ヒマシテモ、ヤハリ蠶  
絲中央會アタリデハ大キナ釜ノ所有者ヘ大  
體ハ指導權ヲ持ツテ行カレルト思フ、ソコ  
ハツ相當ニ考ヘテ、今日ノ新用途或ハ國  
用絲ノ方面ニ於テハ、政府ハ重點主義ヲ執  
ツテイザト云フ場合ノ體制ヲ整ヘテ置カナ  
ケレバナラヌノデアリマスカラ、其ノ方ヲ  
踏付ケルヤウナコトヲシテハイカスカラ、  
輸出ノ方面ニ於キマシテハ、釜數ト云フカ  
製絲設備、其ノ外產繭能力、產繭原料確保  
ガ巧ク均勢ガ取レテ居ナイト、折角ノ運營  
モ巧ク行ナイコトニナリハシナイカト思  
フ、中小製絲家ノ連中ガ相當ニ力ヲ入レヨ  
ウト張切ツテ居ル際デアリマスカラ、私ハ  
此ノ方面ノ業者ガ非常ニヤリ宜イヤウニシ  
モ貰ヒタイノデアリマス、ソコデアナタハ  
共同施設組合ヲ作ツテヤルト仰シヤルガ、  
ソレハ勿論デス、繩ノ配給ヲ受ケルコト  
ハ、丁度吾々ガ飯ガナケレバ生キテ行ケナ  
イヤウナモノデ、人ノ物ヲ搔拂フコトノ惡

イコトハ知ツテ居ルガ、生キンガ爲ニハ何ヲヤルカ分ラナイ、所ガ現在ノヤウナヤリ方ダト、結局殺シハセヌケレドモ、斯ウ云フ形デ行ケバ原料ノ配給ガ出來テ行ケルノデハナイカト仰シヤルガ、實際ノ問題トシテソレデハ今度釜數ガ三百釜ニナルカ二百釜ニナルカ、政府デハ之ニ對シテハツキリシタ御答辯ヲシテ吳レマセヌ、此ノ點ハ遺憾ダト思ヒマスケレドモ、考慮スルト云フコトデスカラ其ノ程度ニシテ其ノ問題ハ宜シイガ、實際ニ原料配給ヲサレル場合ニ、二百釜以下ナラ二百釜以下ノ製絲家ハ小サイ製絲ヲ抱ヘ込ンデ、サウシテ共同配給組合ヲ作ツテソレニ流シ込ンデ貰フ、私ハ何デモ彼デモ小サイ製絲モテンデニ配給ヲ受ケルト云フコトヲ要求シタノデハアリマセナコトハ無理デ、出來ルモノデハナイコトヌ、ソレハ局長サンノ仰シヤル通り、ソンナコトハ無理デ、出來ルモノデハナイコトハ私モ能ク知ツテ居リマス、ケレドモ實際問題トシテソレヲヤル場合ニ、其ノ際ニ共同施設組合、配給組合ヲ作ル中心トナリモノハ百釜カ或ハ相當ノ釜數ヲ持ツテ居ル者ガ中心ニナラナケレバナラヌ、所ガ其ノ人ハ今マデ單獨ノ内ハ繭ヲ仕入レル場合ニ於テモ銀行デ融通シテ吳レタ、所ガ今度ハ負債整理組合ミタヤウナモノデアツテ、丁度金持ト貧乏人トガ負債整理組合ヲ作ル場合ニハ金持ハ逃げテ行ツシマヒマス、サウナルトアトノ連中ダケデハ中々出來ナイカラ、相嘗數ヲ集メルノニ骨ヲ折ルト同ジヤウニ、今度共同施設組合ヲ作ル場合ハ、中心ニナツタ者ハ大體銀行トノ取引ガ出来テ居ルガ、他ノ連中ハ銀行トノ取引ガ出来マセヌ、サウナルト其ノ連中ハ振落サレル恰好デス、所ガ今度ハ豫納金ヲ三割出

セト云フ、是モ亦農林省デハ知ラスト言ハレルデセウケレドモ、サウ云フ形モ一應已ムヲ得ナイト私ハ思ヒマス、所ガ其ノ場合ニ立ツ人ガ今マデハ銀行トノ關係ガアツテ金融ガ付イタノガ、今度之ヲ抱ヘテ行クト云フコトニナルト、俺ハソンナモノヲ抱ヘタノデハ金融ヲ付ケナイト云フコトニナシテ此ノ者ハ參ツテシマフ、ソレデ下ノ者ハ配給ヲ受ケル譯ニ行キマセヌカラ、非常ニ問題ヲ起シテ居ル、ソレカラ今一つ私が聽イテ見タイコトハ、豫納金三割ト云フコトヲ言ツテ居リマスガ、是ハアナタノ方デハ關係ナイト言ヘバ此處デハ質問致シマセヌガ、豫納金三割納メロ、サウシナケレバ會社カラナ繭ノ配給ヲ受ケル譯ニ行カヌ、所ガ三割豫納金ヲ納メレバ半年或ハ春繭ダケ全部吳レルノカ、或ハ一回分ダケノ配給ヲサレルノカト云フヤウナコトモ相當ニ心配シテ居ルノデアリマス、斯ウ云ノ點ニ付キマシテ政府ノ方デハドノ程度ニ考ヘテ居ラレルカ、或ハ今ノ所考ヘテ居ラヌノカ、サウ云フ點モ併セテ御聽キシテ置キタ伊トイ思ヒマス

○吉田政府委員 繭ノ配給ニ付キマシテハ、成ベク單位ヲ大キクシタイト云フ氣持カラ共同施設組合ヲヤツテ居ルノデアリマス、其ノ共同施設組合ヲ作ツテ「グループ」ヲ作ル際ニ色々面倒ガアルト云フ御話デスガ、サウ云フコトモアルト思ヒマス、今後相當ニ多クナツテ、格付ガ非常ニヤカマシクナツテ來ルト思ヒマスガ、輸出生絲ニ對シテハ生絲検査所ガアルガ、國用生絲ニ對シテモ國營検査所ガ必要ダト思ヒマスガ、借リラレタ人モアリ、借リラレナカツタ人モアツタカモ知レマセヌガ、今度ハ作ツタル恰好必ズ適正ナ值デ賣レルコトニナツテ居

リマスノデ、銀行方面ノ考ヘ方、金融業者カラ見レバ非常ニ安心ナノデアリマス、金ヲ貸シテ置イテ絲ノ相場ガドウナルカ、賣レルカ賣レスカト云フ心配ノアツタ際ニヘテ、此ノ検査設備ノ問題ニ付キマシテハ、信用ノナイ人ニハ中々繭ヲ擔保デ金ヲ出サナイコトモアリマシタガ、今度ハ中小ノ人達ハ殆ド決マツタ値デキチツト賣レルコトニナリマスカラ、繭擔保ニ付テハ銀行ノ方面ハ從來ヨリモ中小者ノ爲ニ好クナツテ行クモノト私ハ考ヘテ居リマス、銀行ノ方カラ見レバ極メテ安心ナコトニナリマスノデ、其ノ點ハ好クナツテ行クト思フノデアリマス、實際問題トシテ今色々ナ問題ガ出テ居リマセウガ、私ハ見透シトシテハサウ云フ風ニ考ヘテ居リマスソレカラ三割ノ豫納金云々ノ問題ハ、私餘リ詳シイコトハ存ジマセヌガ、サウ云フコトヲ實行スル上ニ、能ク業者ノコトモ考押付ケガマシイコトヲスル考ヘハナク、實際上好ク行クヤウニ、此ノ法案デモ通リマシタラ、直チニ繭ノ配給等ニ付テ詳シイ關係業者ノ人達ニ御集リヲ願ツテドウヤツタラ一番實際ニ圓滑ニヤツテ行ケルカト云フ方法ヲトツクリ研究シテ行キタイト思ツテ居リマスガ、今サウ云フ問題ニ付テ斯ウスルト云フ考ヘハ別ニ決メテ居ラヌノデアリマス

○野瀬委員 本法實施後國用生絲ノ數量ガ相当ニ多クナツテ、格付ガ非常ニヤカマシクナツテ來ルト思ヒマスガ、輸出生絲ニ對シテハ生絲検査所ガアルガ、國用生絲ニ對シテモ國營検査所ガ必要ダト思ヒマスガ、リマシタカラ至急ヤツテ戴キタイト云フ希望ヲ申上げテ置キマス

最後ニ私ハモウ一點御質問申シマス、ソレハ本法案ノ第四條ヲ見マスト、「蠶種、繭又ハ生絲ノ生産、輸入又ハ移入ヲ業トスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ生産、輸入リマシタカラ至急ヤツテ戴キタイト云フ希

政府ハ將來本法實施後國用生絲國營檢查所作ル御意思ガアリマスカ如何デアリマスカ

以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」ト云フ  
コトガアリマス、此ノ「蠶種、繭又ハ生絲ノ  
生産、輸入又ハ移入ヲ業トスル者」トアリ  
マスガ、此ノ中從來ノ蠶絲商、生絲共同施  
設組合、繭副蠶絲共同施設組合ト云フモノ  
ハ此ノ業ノ中ニ入ルト解釋シテ宜シウゴザ  
イマスカ、私ハ政府が共同施設組合ト云フ  
モノヲ作ラシテ、蠶絲業ニ關係シテ居ルノ  
デスカラ、私ハ關係業者トシテ考ヘテ居ル  
ノデゴザイマスガ、ソレハ其ノ通り考ヘテ  
宜シウゴザイマスカ

○吉田政府委員 蠶絲共同施設組合ハ蠶絲

ノ生産ヲスルモノト見テ居リマス、是ハ宜

イト思ヒマスガ、繭ノ販賣業者ノ繭絲商、

共同施設組合ト云フノハ、蠶種、繭又ハ生

絲ノ生産、輸入又ハ移入ヲヤツテ居ル譯デ

ハナイノデアリマスカラ、是ハココニ入ラ

ヌト思フノデアリマス

○野壽委員 ソレハヲカシイ、ソレナラモ

ツトハツキリシテ置イテ貴ハスト困ル、繭

副蠶絲商ハ現ニ移入ナドヤツテ居ルデハ

アリマセヌカ、此ノ移入ノ解釋ガハツキリ

分ラヌトイカヌ、私ハ移入ノ解釋ヲ各府縣

ヲ始メ朝鮮滿洲トノ取引ラシテ居ルモノヲ

移入ト考ヘテ居ル、今マデ日滿鮮關係ノ產

業政策ノ時ニハ私ハ此ノ字ヲ使ツテ居リマスガ、

サウ云フ關係デソレハ一ツノ移入ヲ業トシ

テ居ル者デアルカラ、當然サウ云フ者ハ此

ノ中ニ入ルト云フ見解ヲ持ツテ居リマスガ、内

地ノ各府縣ノ間デ繭ヲ取扱ツテ居ル商人、

斯ウ云フ風ニ考ヘタノデアア云フ答辯ラシ

ラ輸入スル場合、或ハ朝鮮、臺灣等カラ移

入スル場合ナラバ此ノ中ニ入リマスガ、内

地ノ各府縣ノ間デ繭ヲ取扱ツテ居ル商人、

斯ウ云フ風ニ考ヘタノデアア云フ答辯ラシ

○吉田政府委員 ソレハ満洲支那アタリカ

○野壽委員 サウスルト政府ノ御所見ハ、

例ヘバ繭副蠶絲共同施設組合員ト云フモノ

ハ、是ハ全國ニ約六万人バカリアルノデア

リマスガ、此ノ關係業者ニ對シマシテハ、

是ハ命令事項ニ依リマスト、地方長官ノ許

可ヲ受ケタル場合ハ、選除繭ヲ扱ハシムル

コト、是デ以テ一切合財皆終ルト云フノデア

リマスカ、要スルニ今マデ繭副蠶絲共同施

設組合ヲ作ツテ居ル組合員ト云フ者ハ相當

アルノデアリマスガ、此ノ連中ガ今後生活

ヲヤツテ行クト云フ場合ハ、此ノ命令事項

ノ第四條ノ中ノ「選除繭ヲ買入ル場合、特

ニ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合等ニ付除

外例ヲ設クルコト」ト云フ此ノ中ニ以テ此

ノ業者ヲ扱ツテ行クト云フ風ニ考ヘテ宜シ

イノデスカ

○吉田政府委員 サウ云フ關係トハ少シ違

フノデアリマス、要スルニ此ノ會社が買入

レル場合ニ、サウ云フ繭商人、養蠶團體ヲ

シテ集荷シテ貴フ、或ハ是ハ生繭ヲヤツテ

貰フ、斯ウ云フ方針デ行キタイト思ヒマス、

ソレデ玉繭デアルトカ、中下繭ト云フヤウ

ナ養蠶家デ選り出シタモノ、是モ養蠶團體

デ纏メテヤレバヤレナイトハナイノデア

リマスガ、斯ウ云フモノハ養蠶團體デ纏メ

テヤルト云フコトヲシナイデ、今日マデ繭

商人トシテ相當長イ間商賣ヲシテ居ル人達

デ、ドウモ「ポイント」ノ擗メナインデスガ、

政府ノ方針ニ依ルト、關係業者ハ成ベク失

業サセヌヤウニヤツテ行ク、ト云ツテモ、

何デモ彼デモ從來ノヤウニ頭ヲ刎ネタリ、

物ヲアツチヘ持ツテ行ツタリ、コツチヘ持

ツテ來タリシテ、思惑的ニ儲ケテ歩クト云

フヤウナ業者ハ排擊シナケレバナラスト思

フ、併シ今局長ガ仰セラレタ通り、實際問

題ト致シマシテ、是カラ統制會社が出來

テ、將來ソレヲ實行ニ移スト云フコトニナ

リマスト、實際國用絲ナリ、玉繭ナリ、或

ハ中下繭、其ノ他乾繭ノ問題、或ハ總テノ

集荷ノ問題ニ致シマシテモ、實ニ雜多デア

○野壽委員 ドウモ其ノ點ガハツキリシマ

セスガ、此ノ中下繭ヲ扱ハセルト云フコト

ハ、從來ノ共同施設組合ニ扱ハセルト云フ

居ルノデアリマス

○野壽委員 ドウモ其ノ點ガハツキリシマ

セスガ、此ノ中下繭ヲ扱ハセルト云フコト

ハ、中下繭、其ノ他乾繭ノ問題、或ハ總テノ

集荷ノ問題ニ致シマシテモ、實ニ雜多デア

○野壽委員 ドウモ其ノ點ハ私ハ非常ニ認

タ譯デアリマス

ノデアリマスガ、ソレハ配給モ集荷モ一切

シタヤウナ失敗ヲ繰返ヘサナケレバ宜イガ

ト案ジテ居ル、恐ラク私ハ繰返ヘスノデハ

ナイカト云フ心配ノ方ガ八九分デス、併シ

タガ、大體玉繭、中下繭ノ方ハ是ハ品質其

リ他ヲ決定致シマスノニ中々面倒デアル、

考ヘ方トシマシテハ、此ノ會社ニヤハリ一

手ニ集メテヤラセタイト云フ考ヘ方ヲ持ツ

テ居ルノデアリマスガ、其ノ時ニ繭ヲ集メテ

持ツテ來テ會社ニ賣ルノハ商人ヲシテヤラ

ルノデアリマスガ、實際問題トシテ中下繭

セルト云フコトニシテ行キタイト考ヘテ居

モガアルト思ヒマスガ、之ヲ徹底的ニ初

カラヤルト云フコトニ致シマシテヨ非常ナ

面倒ガ起キハシナイカト云フ點モ考ヘマス

ノデ、是ハ篤ト研究シタ上ニヤツテ行キタ

イ、生繭ハ固ヨリ問題ハナイガ、中下繭、

玉繭ノコトニ付キマシテモ餘程研究シナケ

レバナラス點ガアルノデ、其ノ點ハ篤ト實

情ヲ研究シテ決メテ行キタイ、斯ウ考ヘテ

居ルノデアリマス

○野壽委員 此ノ問題ハ非常ナ重大問題

上繭モ扱ツテ居ルノデアリマスガ、全體的

ニ見マスルト、僅カノ量デアルト思ヒマス、

僅カダカラ宜イト思ヒマスガ、生繭

ダケハ養蠶團體デ集荷シテ會社ニ賣込ムト

云フコトニシテ居ル、是ハサウエライ打擊

トモ承知致シテ居リマスガ、此ノ玉繭ト中

多少違ツタ消費ヲヤツテ居ル地方ノアルコ

ノ考ヘ方デ進ンデ居ルノデアリマス

ナイカト云フ心配ノ方ガ八九分デス、併シ

タガ、大體玉繭、中下繭ノ方ハ是ハ品質其

リ他ヲ決定致シマスノニ中々面倒デアル、

考ヘ方トシマシテハ、此ノ會社ニヤハリ一

手ニ集メテヤラセタイト云フ考ヘ方ヲ持ツ

テ居ルノデアリマスガ、其ノ時ニ繭ヲ集メテ

持ツテ來テ會社ニ賣ルノハ商人ヲシテヤラ

ルノデアリマスガ、實際問題トシテ中下繭

セルト云フコトニシテ行キタイト考ヘテ居

モガアルト思ヒマスガ、之ヲ徹底的ニ初

カラヤルト云フコトニ致シマシテヨ非常ナ

面倒ガ起キハシナイカト云フ點モ考ヘマス

ノデ、是ハ篤ト研究シタ上ニヤツテ行キタ

イ、生繭ハ固ヨリ問題ハナイガ、中下繭、

玉繭ノコトニ付キマシテモ餘程研究シナケ

レバナラス點ガアルノデ、其ノ點ハ篤ト實

情ヲ研究シテ決メテ行キタイ、斯ウ考ヘテ

居ルノデアリマス

○野壽委員 ドウモ其ノ點ガハツキリシマ

セスガ、此ノ中下繭ヲ扱ハセルト云フコト

ハ、中下繭、其ノ他乾繭ノ問題、或ハ總テノ

集荷ノ問題ニ致シマシテモ、實ニ雜多デア

○野壽委員 ドウモ其ノ點ハ私ハ非常ニ認

識ガ違フト思ツテ居リマス、上繭ヲ扱ツテ  
居ルノハ僅カデアツテ、殆ンド中下繭ト言  
ハレマスケレドモ——是ハ無論消費地ト生  
産地ハ達ヒマス、我ガ長野縣方面ニ於キマ  
シテハ、專業者ガ三千人アル、其ノ三千人  
ノ多クハ座縫業者、或ハ玉縫業者或ハ其ノ  
他ノ製絲家ヲ對象ニシテ居ツタノデアリマス  
カラ其ノ扱ヒ額ト云フモノハ大體一千万貫  
ガ地元出來、アト一千万貫ハ他處カラ持ツ  
テ來テ、其ノ他九百万貫位ハ中下繭、玉繭  
ヲ持ツテ來テ居ツタ、長野縣バカリノ例ヲ  
擧ゲルヤヴデスガ、特ニヒドイ所ノ消費地、  
群馬縣トカ長野縣トカ其ノ他ノ製絲縣ニ於  
キマシテハ、非常ニ是ハ問題ニナツテ居リ  
マス、是ハ獨リ消費縣バカリナクテ、全  
體ニ於キマシテモ此ノ關係業者ト云フモノ  
ハ上繭ヲヤハリ扱ツテ居ツタ、併シ今マデ  
ノヤウナ考ヘ方デ上繭ヲ扱ヘト云フコトハ、  
ソレハイカスト思フ、統制會社ノ統制アル  
方針ニ從ツテ、其ノ取扱業者ヲ實蹟中心デ  
活カシテ行ク、例ヘバ、統制會社ガ命ジマ  
シテ、養蠶家カラ集荷ヲサセル、サウシテ  
統制會社ノ手足トナツテ、其ノ命令ニ依ツ  
テ今度ハ之ヲ各方面ノ座縫ニ出ストカ、或  
ハ玉絲ニ流スト云フヤウニ之ヲ扱ハサセレ  
バ、非常ニ「スムース」ニ行クヂヤアリマセ  
ヌカ、折角今統制會社ガ生レマシテモ、恐  
ラク其ノ手足トナル所ノ機關ヲ使ハナケレ  
バナラヌト思ヒマス、先程モ蠶絲局長ガ御  
答辯ニナリマシタ通り、私ハ能ク深ク考ヘ  
テ下サルト思ツテ感謝シテ居リマス、ソレ  
ヲ實現シ、實踐シ、實行ニ移スノヒハ、私  
ハ只今ノヤウナ方針デ行クコトガ、最モ「ス  
ムース」ニ行キ順調ニ行クコトダト考ヘテ  
居リマス、ドウカサウ云フ風ニ配給機構ノ

方面ニ今マデノ繭副蠶絲共同施設組合ヲ統制會社ノ手足トシテ使ツテ戴キタイト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ルノデスガ、此ノ點ニ對スル當局ノ御見解ヲ承リタイト思ヒマス○吉田政府委員 會社ガ集メタ繭ヲ消費ヲスル人達ニ分ケルト云フコトモ一ツノ仕事ニナリマスカラ、斯ウ云ツタ關係ニ於テ從來ノ繭ニ付テ色々知識經驗ヲ持ツテ居ル人達ヲ、其ノ會社ノ手足ト申シマスカ、職員ト申シマスカ、サウ云ツタコトデ相當人モ要ルコトデアリマセウカラ、サウ云フ經驗者ヲ成ベク使フト云フコトニ付テノ考へ方ニ於テハ、毛頭異存ハナイノデアリマス、サウ云フ方面デモ十分ニ失業ヲ防止シテ行キタイ、斯ウ云フ氣持ヲ持ツテ居ルコトハ前カラ申上げテ居ル積リデアリマス○野瀬委員 能ク分リマシタ、ソレデハ局長殿ニハ、上、玉、中、下繭一切ハ從來ノヤウニ集荷配給サセルト云フ風ニアナタガ考ヘテイラツシヤルト解釋シテ差支アリマセスカ

○野瀬委員 其ノ點ヲハツキリシタイデスガ、上瀬ニ對シテハ成ベクサウ云フ業者ヲ利  
用シテ行キタイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス  
ガ、上瀬ニ對シテハ成ベク養蠶團體ヲ使ハ  
ウト思フガ、場合ニ依ツテハ瀬共同施設組  
合ノ連中モ使フ、ソレカラ中、下、玉瀬ニ  
對シテハ集荷、配給ヲ從前通り認メテ行ク  
方針デアルト云フヤウニ御答辯サレタヤウ  
ニ思ヒマスガ、サウ云フ風ニ解釋シテ宜イ  
デスカ

○吉田政府委員 上瀬ニ付キマシテハ養蠶  
團體ヲ以テ集荷サセル考ヘデアリマス  
○野瀬委員 ソレデハ見解ノ相違デ已ムヲ  
得マセヌガ、併シ之ニ付キマシテハドウカ、  
養蠶團體ヲ以テヤラセル積リデアリマスト  
云フヤウナキツパリシタ御意見デナクシテ、  
失業者ヲ出サナイト云フ見地カラ、モウ少  
シ圓滑ニ調整ノ出來ルヤウニ御配慮ヲ願ヒ  
タイト思ヒマス、此ノ問題ニ付キマシテハ  
後デ大臣出席ノ折ニ質問シテ、見タイト思ヒ  
マス

尚ホ之ニ關聯シテデアリマスガ、斯ウ云  
フコトヲ御参考マデニ申上げマシテ私ノ質  
問ヲ打切りマス、今マデノ副蠶絲業者ハ實  
際天秤棒一ツデ以テ動イテ、非常ニ甘イ儲  
ケヲシタヤウニ思ヒマスガ、實際ハ中下瀬、  
玉瀬ナドヲ扱ツテ居タ者デサウ大シタ金儲  
カレスヤウデアリマス、併シ此ノ連中モ相  
當ニ今日マデ役立ツテ來テ居ル、瀬ヲ動カレ  
シ、流スコトニ相當役立ツテ來テ居ル、斯

ウ云フ業者ガ相當アル、而シテ彼等ハ今日  
ドウ云フ生活ヲシテ居ルカト云フト、長野  
縣邊リデハ二万二千貫モ扱ツテ、而モ十錢  
位ノ手數料デヤツテ來タ、ソレデ二千二百  
圓ノ收入、其ノ中雜費、運賃或ハ旅費等ヲ  
差引キマスト、大體ニ於テ彼等ノ收入ハ千  
五百圓、一箇月八九十圓位ノ收入ニナルノ  
デアリマスガ、ソレヲ以テ生活シテ來タノ  
デアリマス、所ガ今度ハ上繭ノ一千万貫中  
五割位扱ツテ居タモノガ、今度扱ヘヌト云  
故ニドウカ、此ノ蠶絲統制會社ニ於テモ代  
行機關ガ要ルノデアリマス、結局多クノ人  
實ニ大ナル脅威ヲ受ケルコトニナリマス、  
カラ、別ニ是ガ今マデノヤウナ思惑トカ、  
自由主義的ナ行爲ヲヤリタイト云フノデハ  
アリマセヌカラ、一ツ此ノ憐レナ連中ヲ統  
制會社ノ中ニ入レテ、手足トシテ使ツテ戴  
キタイ、是非斯ウ云フ方面ニ利用シテ戴  
キタイト御願ヒスルノデアリマス、以上ハ  
私ノ希望デアリマスカラドウカ政府ニ於テ  
モ御考ヘ願ヒタイ、ソレデハ先程ノ農林大  
臣ニ對スル質問ヲ留保致シマシテ私ノ質問  
ハ是デ打切りマス

ヲ其ノ儘ノ形ニ於テ統制會社ノ仕事ヲ代行  
サセルト云フ御心組ナノカ、ソコヲ一寸伺

ツテ置キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 使ツテ行クト云フノハ、

私が申シタ積リデハ、所謂職員ニスルノデ、

自己ノ計算ニ於テ繭ノ取引ヲスル、上繭ノ

取扱ヲヤツテ行ク、斯ウ云フコトハ、此ノ

統制會社ガ出來ルト云フコトニナツテ、養

蠶團體ガ一手ニ持ツテ行キ、製絲家ノ方ガ

一手ニ買ツテ行クト云フコトニナルト、サ

ウ云フ餘地ハ非常ニナクナツテ行キマスノ

デ、先程申シマシタノハ、會社ニ於テ繭ノ

取扱ヲ致シマス仕事ガ相當殖エテ來マスカ

ラ、集散地等ニ於キマシテ成ベクサウ云ツ

タヤウナ會社ノ職員トシテ之ヲ使用スル、

斯ウ云フ風ニ考ヘタノデアリマス

○鈴木(正)委員 サウシマスト當然今日ノ

間屋業者ト云フモノハ失業スルモノト云フ

コトヲ前提トシテ御考ヘニナツテ居ルノデ

アリマスカ

○吉田政府委員 無論今日ノ形ニ於テ、問

屋ト申シマスカ、今マデ横ニ繭ヲ賣買シテ

居ツタ人達ハ、餘程今マデトハ違ツタ形ニ

ナツテ來マシテ、失業ト申スヤウナ形ニナ

ラザルヲ得ナイト思フノデアリマス、玉繭、

屑繭等ノ取扱デ仕事ガ殘ル人ハ相當殘ルダ

ラウガ、上繭ヲ取扱フ限リニ於キマシテ

ハ從來ノヤウナ形ノ仕事ガナクノナツテ行

ク、斯ウ云フコトハ已ムヲ得ナイコトダト

思ツテ居ルノデアリマス

○鈴木(正)委員 其ノ點デ尙ホ疑問ガアリ

マスケレドモ、私ハ私ノ順番ヲ待ツテ質問

スルコトニ致シマス

○高橋委員長 山田君

農林大臣ニ御聽キ致シタ

第六類第二十號 蠶絲業統制法案委員會議錄 第三回 昭和十六年二月十三日

イ問題ガアリマスガ、御見エニナツテ居リ

マセヌカラソレハ保留シテ置キマス

ニナリマスカラ、其ノ際ニ御願ヒシマス

○山田(六)委員 農林大臣ハ間モナク御見エ

ハ、是ハダメヲ押スヤウナ形ニナリマスガ、

大體ニ於テ輸出生絲、國用生絲、或ハ新用途

生絲、短纖維ト云フヤウナモノニ計畫消

費ヲヤルト云フコトガ基礎ニナツテ居ナカ

ツタナラバ、此ノ蠶絲統制ト云フモノノ意

義ヲ成サヌト思フノデアリマスガ、此ノ點

ニ付テハ、是マデ御聽キ致シタコトガアリ

マスガ、マダハツキリシナイ、詰リ日本ノ

纖維國策ト云ヒマスカ、一つノ纖維ニ對ス

ル方針ノ中ニ、蠶絲ニ關スル所ノ纖維ハ斯

ウ云フヤウナ方針デ今後之ヲ消費シテ行ク

ノデアル、斯ウ云フハツキリシタ國策ガ無

論立ツテ居ルグラウト思ヒマスガ、サウ云

フ基礎ノ上ニ此ノ蠶絲統制法ト云フ法律ヲ

作ルト云フ御決心デアラウト思ヒマスガ、

其ノ點一寸御聽キ致シタノデアリマス、

是ハ商工省或ハ企畫院等ニ御關係ガアルカ

モ知レマセヌガ、兎ニ角農林省ト三ツノ役

所ノ中ニ其ノ問題ニ付テハツキリシタ基礎

觀念ガナケレバナラス、斯ウ思フノデアリ

マスガ、其ノ點一寸御聽キ致シタイ

○吉田政府委員 無論今後此ノ會社ガ出來

マシテ、繭ハ一手ニ取ソテ、繭ト生絲ト短

纖維ト云フ方面ニ向ケルト云フコトニ計畫

ヲシテ行ク、其ノ生絲ノ中デ輸出向ノ生絲

ト内地デ使フコトヲ目的ニ致シマス生絲ト、

斯ウ云フ工合ニソレぐ計畫的ニ分ケテ作ル

デアリマスガ、今日輸出生絲ヲドレダケニ  
考ヘヲ決メテ居ルカ、内地ノ生絲ヲドレ位

リシテ居ラヌノデアリマス、是ハ此ノ委員

會ガ出來マシタナラバ其ノ委員會ニ諸ツ

委員會ニ諸問致シマシタ上デ決定スルノ

ガ妥當デアラウ、斯様ニ考ヘテ居ルノデ

アリマス、唯之ニ附加ヘテ申上げタイコト

ハ、私共ト致シマシテハ、マア短纖維ニス

ルモ宜イガ、繭ハヤハリ生絲デ消費

サレル限リハ生絲ニスル方ガ宜シイ、併

シ生絲ニシテモ賣レナイ、是以上ハ生絲ニ

スルト過大ニナル虞ガアルト云フヤウナ分

量ヲ短纖維ニシタイ、斯ウ云ツタ氣持ハ持

ツテ居ルノデアリマス

○山田(六)委員 其ノ點ニ對シマシテハ、

農林省トシテハサウ云フコトデアルガ、無

論企畫院トシテモ商工省トシテモ、其ノ點

ハ何レモ全政府ノ方針トシテ、其ノ消費ト

云フ方面ハサウ云フ目的デヤツテ行カナケ

レバナラスト考ヘテ居ル、斯ウ云フコトニ

考ヘテ宜シイノデアリマスカ、一寸ダメヲ

押スヤウデアリマスガ

○吉田政府委員 是ハ商工省方面トモ色々

相談モ致シテ居ルノデゴザイマス、今成ベ

ク生絲ニシテト云フコトヲ申シマシタノハ、

主トシテ製絲ノ方ノ關係モアルカラデアリ

マス、吾々ノ方デモ生絲デ使ヒ得ル限リニ

於テハ生絲ニスルト云フ考ヘ方ニハ大體意

見ガ一致シテ居ルノデアリマス、併シ其ノ

數量ヲドノ位ニ見込ムカト云フ問題ニ付キ

マシテハ、先程モ申シマシタヤウニ、マダ

○山田(六)委員 大臣ガ御見エニナリマシ

タカラ、此ノ國策會社ト云フ問題ニ關シテ

御聽キヲ致シタイノデアリマス、最近國策

會社ト云フモノガ非常ニ澤山出來マシタガ、

其ノ國策會社ト云フモノノ通有性ト云ヒマ

スカ、組織ノ工合ガ大體一致シテ居ル、サ

リシテ各種ノ重要ナ產業ガ此ノ國策會社ニ

會ガ出來マシタナラバ其ノ委員會ニ諸ツ

委員會ニ諸問致シマシタ上デ決定スルノ

ガ妥當デアラウ、斯様ニ考ヘテ居ルノデ

アリマス、唯之ニ附加ヘテ申上げタイコト

ハ、私共ト致シマシテ、或ル部分ヲ政府ガ

依ツテ經營ヲセラレルト云フコトニナツテ

居ルノデアリマスガ、此ノ勢ヒガ今後進ン

デ參リマシタナラバ、日本ノ大部分ノ產業

ト云フモノハ國策會社ノ手ニ經營サレルコ

トニナル、所謂產業ノ國家經營ト云フコト

ニ相成ルダラウト思フノデアリマス、第一

ル人ト云フノハ何レモ政府ガ任命スル、サ

ウシテ理事ノ如キモノモ或ハ政府ガ任命シ

出シ、或ル歩合ヲ民間カラ出スト云フコト

ニナツテ居リマスルシ、此ノ會社經營ニ當

或ハ政府ガ認可ラスル、斯ウ云フ制度ニナ

ツテ居リマスルカラ、其ノ出資ハ國及ビ民

間カラ出シマシテモ、會社經營ト云フモ

ハ、全ク政府ノ意思ニ依ツテ、適當ナル人

コトニ相成ルノデアリマスガ、斯様ナ方針

ヲソコニ選定シテ其ノ業務ヲ行ハシムルト

云フコトニ相成ルノデアリマス、デアリマ

スルカラ、產業ハ純然タル國家經營ト云フ

コトニ相成ルノデアリマスガ、斯様ナ方針

ヲ以テ今後總デノ産業ニ向ツテ現在ノ政府

ハ進ム御意忠アルカドウカト云フコトヲ

シテ居リマスガ、總デ政府ガ出資ヲ致シ、

先ヅ第一ニ御聽キ致シタイト思フノデアリ

マス

ガ任命ヲシテサウシテ經營ヲサセル、總テ

○石黒國務大臣 山田サンノ只今ノ御尋ね

デアリマスガ、世ノ中デ所謂國策會社ト申

シテ居リマスガ、總デ政府ガ出資ヲ致シ、

民間カラモ出資ヲサセテ、其ノ役員ハ政府

ノ事業ヲサウ云フ形式デヤツテ行クト云  
風ニ考ヘルカト云フ御話デアリマスガ、一  
括シテ國策會社ト云フコトヲヨク言フノデ  
アリマス、私共モ亦サウ云フ言葉ヲ使ツテ  
居ルノデアリマスガ、是ハ、經營ヲ會社自  
體ガヤルノト、ソレカラ統制ト云フ部面ノ  
多イノト、大體ニ於テ種類ガ二ツアルヤウ  
ニ私ハ見テ居ルノデアリマス、サウシテ或  
ル産業ヲ其ノ會社ニ本當ニ經營サセルト云  
ファウナモノモアリマスガ、此ノ蠶絲ノ關  
係ノ只今問題ニナツテ居リマスル會社ハ統  
制會社デアリマス、只今ノ蠶絲業界ニ於テ  
モ非常ナ事態ガヤツテ來ルダラウト考ヘテ  
居ルノニ對シテ必要ナ統制ヲヤル爲ニ、是  
ハ國家デハ中々行キ兼ネル、故ニ統制會社  
ヲ持ヘテ、國家ノ必要モアルシ、蠶業界全  
般ノ之ニ對處スル必要モアルノデアルカラ、  
兩方面カラ出資致シ、サウシテ統制アル方  
針ノ下ニ蠶業界ヲ時局ニ善處セシメル、斯  
ウ云フ案デアリマス、隨ヒマシテ所謂經營  
的色彩ト云フモノハ割合ニ薄イノデアリマ  
ス、統制的色彩ガ主ナルモノデアルト御承  
知願ヒタク、サウ云フ性質デゴザイマスカ  
ラ、之ヲ實際ニ經營シテ參ル幹部ニシマシ  
テモ、政府ガ時代ニ適シタ統制ヲヤリ、引  
纏メテ善處ヲスルト云フコトニ堪能ナ人方  
ヲ民間ニ於テ物色致シテ理事ニ任命スルト  
云フコトニシテ行キタク、斯ウ云フ考ヘヲ  
持ツテ居ルノデアリマス、所謂廣イ意味ノ  
國策會社ニ對シマシテ民間カラ御非難ヲ蒙  
ムル點モアル、サウ云フ場合ニヨク官吏ノ  
古手ヲ重役ニ差込ムト云ツタヤウナコトニ  
付テノ御非難ガアルノデアリマス、是ハド  
ウモ御非難ヲ受ケテモ已ムヲ得ナイヤウナ  
事實モナイノデハナイト考ヘマスルガ、全

部ガ全部サウカト言フト、私ノ知ツテ居ル範圍内ニ於テ必ズシモサウデナイ、ト云フノハ時局ニ處シテ必要アツテ出來マシタ所謂國策會社、之ヲ色々大キイ自由企業デヤドウモ中間ノ色ノナイモノヲ入レテ置ク必要ガアルト云フヤウナ所カラ、現ニ官吏デ居ル者、若シクハ辭メタ者ヲソコニ入レザルヲ得ナイ、又要望セラレルト云フヤウナ結果入レタ方ガ宜カラウト云フヤウナ考ヘカレんレタ例モアルノデアリマス、總テガ總テサウダト云フ譯デハゴザイマセヌガ、サウ云フ事實モアルト云フコトヲヤハリ平靜ニ御認メヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、サウ云フヤウナ點ニ付キマシテハ、當會社ニ關シテハ、私ハ責任ヲ以テ十分ニ考慮ラシナケレバナラナイト感じテ居リマス、ソレカラ現政府トシテ凡ユル産業ヲ國策會社ト云フヤウナモノデヤツテ行ク存念デ居ルカト云フ御質問デゴザイマスガ、是ハ必ズシモサウデハナイ、斯ウ考ヘマス、少クトモ私ハ國策會社ト云フヤウナモノハ、比較的統制ノ部門上已ムヲ得ザル場合ニ、政府ガ統制スルト云フヨリモ會社ヲ拘ヘテ當業者ノ多數ノ參加ヲ得テソレニ統制ヲシテ貰ツテヤツテ行クコトガ宜シイト考ヘラレマスマヤウナ場合ニ於テ、已ムヲ得ズ統制會社ト云フモノヲヤツテ行クト云フコトニ致シタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス

社ノ前途ニ非常ナ影響ヲ及ボスモノデアル  
スウ云フ風ニ考ヘルモノデスカラ此ノコト  
ヲ御聽キシタノデス、私共モ今日ノ蠶絲行  
政ノ上カラ考ヘテ、蠶絲業ノ實體ガ斯クノ  
如クナツタ以上ハヤハリ統制ヲ實行致シテ、  
蠶絲業界ニ活力ヲ與ヘルヨリ他ニ方法ガナ  
イト云フ風ニ固ク信ジテ居ルノデアリマス  
ガ、併シ此ノ蠶絲業ガ輸出ニ於テ四億、五  
億ト云フヤウナ外貨ヲ取ツテ居リマスシ、  
又全農家ノ農民ガ八億圓ト云フ現金收入ヲ  
持ツテ居ル大產業デアリマスカラ、此ノ會社  
社コソハ所謂國策會社デハナク本當ニ目的  
ヲ達成シ得ル完全ナル會社ニ致シタイ、斯  
ウ云フ希望ガ非常ニ強クナツテ居ルノデア  
リマス、國ガ半分資本ヲ持ツテアトノ半分  
ヲ民間カラ出サシメテ而シテ重役ハ政府ガ  
任命、或ハ認可制ヲ執ルト云フコトニナリ  
マスレバ、資金ト經營者トノ間ガ打切レテ  
シマフト云フ虞ガアルト見テ居ルノデアリマ  
ス、所謂資本ト經營者トノ間ガ打切レテ  
シマフ虞ガアル、併シナガラ御話ノ通り此  
ノ會社ハ統制會社デハアルガ、役人ノ天降  
リデ組織スル意思ハナシ、斯ウ云フヤウナ  
御意思ノ御話ノヤウデアリマスカラ、私共  
ノ心配ハ其ノ爲ニナクナルカモ知レマセヌ  
デスガ、或ハ此ノ會社ヲ造ルニシテ設立委  
員ヲ造リマスルニモ、農林省ガ全部任命ヲ  
スルト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウ  
デアリマスシ、是等ニ對シマシテモ、其ノ  
人選等ハドウ云フ御方針デオヤリニナリマ  
シテ、本當ニ經驗ヲ積ミマシタ特殊ノ技能  
セウカ、御聽キ致シタイト思フノデアリマ  
ス、願クハ蠶絲業ノ過去ノ歴史ヲ考ヘテ見  
ヲ持ツテ居ル者デナケレバ、或ハ生產方面

シテモ容易ニ出來ナイ、況ヤ此ノ大統制ヲ試ミヨウト云フ際ニ、是ハ餘程其ノ方針ヲシツカリ御立テ願ハナカツタナラバ、此ノ會社ノ前途ト云フモノハドウナルカ、果シテ蠶絲統制ノ實ヲ目的通り舉げ得ルカドウカト云フ點ニ付テ心配ガアルノデアリマスガ、其ノ邊ノ所ヲ一寸御伺ヒ致シマス  
○石黒國務大臣 山田サンノ只今ノ御質問、私モ是非本當ノ國家ノ必要、蠶絲各當業者ノ將來ノ爲メ非常な時局ニ處シテ能ク善處ヲスルト云フ統制會社ノ眞目的ニ副フヤウニ將來アリタイモノダト云フ考へヲ持ツテ居リマスカラ、ソレニ依リマシテ、將來ノ設立委員等ニ付キマシテモ十分ニ注意ヲ致シマス、蠶絲業ノ全野ヲ蔽ヒマシテノ統制ニアリマスカラ、種々養蠶、製絲、製織、色々ナ方面ニ關係ノアルコトデアリマス、ソコデ十分關係ノ廣イ各方面カラ當業ノ經驗ノアル方々及ビ是ハ先キモ申上ゲマシタヤウニ、國家ノ必要カラモ來テ居ルノデアリマスカラ、ソレハ關係スル官廳ハ相當ニ多方面ニ亘ツテ居リマス、ソレ等ノ方面ノ官廳トノ關係ヲ十分ニ能ク執ツテ行クニアラズンバ、統制會社ノ大目的ハ達シ難イト思ヒマスノデ、ソレ等ノ方面或ハ技術乃至學問ノ方面ニ關係アルト云フ所カラ、適當ナル員數ノ設立委員ヲ選ビマシテ、ソレニ依ツテ設立ノ事務ヲ進メテ行ツテ貰ヒタイ、斯ウ云フ考ヘデ居リマス  
○山田(六)委員 大臣ニ對スル質問ハ了解致シマシタカラ打切リマス  
次ニ會社ノ輪廓ニ付テ一つ御聽キ致シタイト思フノデアリマスガ、現在マデノ日本ニ於ケル蠶絲業全體ノ繭ノ價格ガ約八千万

圓ヲ突破シテ居ルノデアリマス、之ヲ製絲ニ致シマスレバ或ハ副蠶絲其ノ他ノ關係モアリマスガ、八億圓カラ十億圓ニ近イモノカラスウ云フ御計畫ヲナサツタカト云フコト御聽キシタイノデアリマス、其ノ意味ガドウモ能ク分ラヌノデアリマス、大抵ノ會社ガサウデアリマスガ、殊ニ斯ウ云フ大變ナ金額ニ上ル事業ヲヤラウト云フニハ、或ハ程度マデ資本ヲ備ヘテ尙ホ不足ノモノニ對シテハ社債ノ發行ヲ認メテ國ガ保證スルト云フコトガ普通ノヤウニナツテ居リマスガ、此ノ會社ニハソレガ無イ、八千万圓ダケデ經營シテ行カウト云フノデアリマス、サウ云フコトニナツテ參リマスレバ、借入金ト云フモノハ非常ナ金額ニナリ、其ノ金利モ容易ナモノデハナイヤウニ心配サレルノデアリマスガ、鬼ニ角八千万圓ノ中半額シテ、然モ社債ノ計畫モナイ、殆ド全部借入アツタノデアリマス、四千万圓デハ生産統ニ依ラナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマスガ、斯ウ云フ程度ノ金額デ蠶絲業ノ統制ヲ巧クヤツテ行ケルカドウカト云フコトガ心配デ堪リマセヌガ、其ノ邊ニ付テノ御意見ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス〇吉田政府委員此ノ繩ニ致シマシテモ生絲ニ致シマシテモ、買ヘバ直グ流レテ行クモノデアリマジテ、私共ノ見ル所デハイツト思フノデアリマス、季節的ニモ非常ニ違ヒマスルガ、サウ云フ所カラ割出シマシテ

寝テ居ルト致シマシテモ、ソレヲ擔保シテ、信用ノアル會社デアルト私共ハ信ジテ居ルノデ、銀行モ安心シテ相當程度金ヲ貸シテ貴へルト思ヒマス、又金融方面ノ人達モ今度斯ウ云フコトニナレバ値段モ決マツテ居ルシ、金ヲ貸スニハ極メテ安全ナ會社デアルト申シテ居ル位デアリマス、其ノ點ハ十分信用ヲ得ラレモノト斯様ニ考ヘマシテ、成ベク配當ヲ拂フヤウナ金ヲ使フコトヲ少クシテ、短期ノ金デ仕事ヲシテ行ク、斯ウ云フコトニ考ヘマシテ此ノ程度デ宜カラウト云フコトニ決定致シタ次第デリマス

本ニ對スル何倍ト云フ大ナル負債ヲスルト  
云フコトニナリマスレバ、其ノ負債ニ對ス  
ル利子ト云フモノノ全部ハ養蠶家ノ負擔ト  
ナラナケレバナラ又筈デアリマス、是ハ所  
謂營業費ノ増加デアリマスカラ、ソレハ全部  
養蠶家ノ負擔トナラナケレバナラヌト云フモト  
コトニナリマス、デアリマスカラ此ノ資本  
ヲ八千万圓トシ、四千万圓拂込ト決メルコト  
ニ依ツテ、養蠶家ノ蒙ムル利害ト云フモノ  
ハ相當ニ大キイト云フ風ニ考ヘラレルノデ  
アリマスガ、其ノ點ニ付テ何カ御計算ニナ  
ツタモノガオアニナレバ御示シヲ願ヒタ  
イ、是ハ中々容易ナラヌ經費ガ掛ルト云フ  
コトヲ心配スルノデアリマスガ、其ノ點ヲ  
一寸御聽キシタイ

ノデハナクテ、一番多イ時ガソレデアツテ、  
後ハ又少クナツテ行ク、是ハ全クノ想像デ  
アリマスガ、計算ヲシテ見マストサウ云フ  
コトニモナルノデアリマス、ソコデ其ノ繩  
ノ二掛程度ヲ頭金トシテ、自己資金トシテ  
出ス準備ヲシテ置ケバ宜イナラ四千万圓デ  
宜シイノデアリマス、併シソレダケデハイ  
カヌノデ資本トシテハ其ノ倍額ト云フコト  
ニシテ居ルノデアリマス

○山田(六)委員 己ムヲ得ナイコトデアリ  
マスガ、ドウモ資本金ノ少ノハ非常ニ遺  
憾ダト思ヒマス、其ノ次ニ御聽キシタイコ  
トハ、是ハ松岡サンカラ又叱ラレルカモ知  
レマセヌガ、問題ガ非常ニ重大ナ問題デア  
リマスカラ伺ノデスガ、ドウシテ重大力  
ト云フト私共ノ考ヘテ居ルコトト、政府ノ  
今考ヘテ居ルコトニ極ク少シデハアリマス  
ガ、意見ノ相違ガアルノデアリマスガ、此ノ  
相違ハ農林省トシテハ斯クスルコトニ依ツ  
テ國家ノ爲ニ利益ニナル、蠶絲業ノ爲ニ利  
益ニナルト信ジテ居ラレルノデアリマスガ、  
私共ハサウ云フ方針ヲ執ラヌ方ガ蠶絲業ノ  
爲ニ利益ニナル、斯ウ信ジテ居ルノデアリ  
マス、其ノ方ガ國家ノ爲ニ宜シイ、斯ウ信  
ジテ居ルノデアリマス、其ノ何レノ主張方  
眞ヲ穿ツテ居ルカ、實際ニ適ツテ居ルカト  
云フヤウナコトニ付テハ、此處ニ居ラレル  
委員各位ニ御聽キヨ願ツテ、是等ノ人々ノ  
御判断ニ依ツテ之ヲ取極メルヨリ外ニ方法  
ガナイト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、デ  
アリマスカラ此ノ際ハ松岡サンニ御辛抱ヲ  
願ヒマシテ、其ノ點ニ付テ御聽キヨ致サナ  
ケレバナラヌト思フノデアリマス

此ノ蠶絲業統制法ヲ讀ンデ見マスト、第四  
條ニ、生絲、繭或ハ蠶種ノ賣買ト云フモノハ、

會社ニ向ツテ賣ルコト、會社カラ買フコト、斯ウ云フコトガハツキリ決マツテ居リマス、絲ニ對シテハ違フ、製絲家カラ言ヒマスト、輸出生絲ノ流シ方ハ會社ニ賣ルコトモ宜シ、又製絲家自身ガ、輸出業者ニ賣ルコト、モ宜シ、直輸スルコトモ宜シ、又問屋ヲ經テ直輸業者ニ賣ルコトモ宜シ、又今日ノ清算市場ヲ利用シテ其處ニ賣ルコトモ宜シ、斯ウ云フヤウナ結果ニナルダラウト思フノデアリマス、即チ輸出生絲ヲ處理スル方法トシテハ、此ノ五ツノ方法ニ依ツテ處理セラレルコトニナルト思ヒマスガ、其ノ通リデアリマセウカ

○吉田政府委員 製絲家ハ輸出生絲ノ販賣ニ付キマシテハ、會社ニ賣ラヌデ宜シノデ、現在賣ツテ居ル方法ニ依リマシテ處分シテ宜シトイ云フ建前ヲ執リマスル以上、先づ大體現物市場デ一齊ニ取扱フコトニナルト思ヒマス、又清算市場デ賣繫イデ置キマシテ、期限ガ來テ渡シテ行クコトモアラウト思ヒマス、又必要ガアリマスレバ、此ノ會社ニ賣ルト云フ途モ考ヘラレマスルノデ、斯ウ云フ場合ニハ此ノ會社ヘ賣ルト云ノト輸出間屋ニ賣ルト云ノガ原則デアリマセウカラ、是ハ殆ド現在ト格別變ツタコトニハナラナイノデハナイカト思ヒマスガ、併シ何トシテモ、農林省ノ意見ニ納得スルコトガ出來ナインデアリマス、デアリマスルカラ重ネテ御聽キシタイ、蠶絲ヲ統

制スルト云フ上カラ、先刻モ助川サンカラ熱心ニ御話ガアリマシタガ、支那ノ蠶絲ト日本ノ蠶絲ノ問題デアリマス、支那ノ蠶絲トト日本ノ蠶絲ハ非常ナ關係ガアリマシテ、是ハスウ云フヤウニ輸出生絲ガ少クナレバナル程双方ノ輸出率ヲハツキリ決メマシテ、サウシテ昨日アタリ御配布ニナリマシタ資料ニ依リマスト、世界ニ於ケル生絲ノ三國ハ日本、支那「イタリア」トナツテ居リマス、此ノ三國一緒ニナレバ全世界ノ生絲ノ販賣上ニ於テハ大體ニ於テ纏マツテ統制ガ出來ル、併シ兎ニ角日本ト支那ヲ統制致シマシタナラバ、是ハ生絲ノ大部分ヲ統制スルコトガ出來ルノデアリマス、是ハドウシテモ統制シナケレバナラヌ、今ノヤウニ放任シテ居ツタノデハ——現在ハ放任シナイガ、現在放任シナインハ臨時ノ措置トシテ出來ル、現在臨時ノ措置トシテ統制シテ置クコトガ、永久ノ日支兩國間ノ調節ニハナラヌ、斯ウ云フ風ニ私共ハ考ヘルノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘマシテモ、ドウシテモ此ノ輸出生絲ハ私共ハ考ヘルノデアリマスモト考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレガ輸出生絲ヲ統制スル品位ガ下ガルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスカラ若シ全體ノ輸出生絲トシテ買フノデアリマスカラ、惡イモノヲガ買フト云フコトニナリマシタ場合ニ、決シテ品位ガ下ガルノデアリマセウカ、其ノ點ニ付テ御聽キ致シタイ、是ハ今日政府ガ悉クノ生絲ヲ買ツテ居ル時代デハナイ、又帝蠶會社ガ悉クノ生絲ヲ買ツテ居ル時代デハナイノデアリマスカラ、一面ニハ現在ノ輸出生絲ハ一部ハ輸出業者ニ賣リ、一部ハ帝蠶ニ買ツテ貴フ、斯ウ云フコトニナツハ居ルヤウデアリマス、其ノ際ニ果シテ品位ガ落ナルト云フコトノ御説ガ眞ナリトセ

バ——今日政府デ買ツテ居ル生絲或ハ帝蠶絲ヲ居ルノデアリマスガ、若シ百歩、千歩モ讓テ少シ付テ御聽キ致シタイ、是ハ非常ナ惡影響ガアルト思ヒマスガ、ソレハ後デ又申上ゲタイト思ヒマス、ガ出來ル、惡イモノガ出來ルト云フノハ、ドレカ一ツデモ缺ケタナラバ、如何ニ努力シテモ立派ナモノハ出來ナイト云フコトニナルノデアリマスガ、若シ百歩、千歩モ讓テ少シ付テ御聽キ致シタイ、是ハ非常ナ惡影響ガアルト思ヒマスガ、ソレカラ値段ニ動キガナシテ、此ノ統制法ノ目的ハ價格ノ統制ト數量ノ統制シナイト云フコトニナリマシタナラバ、即チ絲價ノ安定又ハ需給ノ調節ト云フコトニナツテ居リマスガ、絲價ノ安定ト云フコト

トハ國內ノ生絲ヲ安定セシメルコトデハクシテ、「アメリカ」ノ生絲ヲ安定セルノガ目的デナケレバナラスト思フ、日本ノ生絲ハ是マデノ例デアリマスガ、其ノ異常ナル暴騰ヲシテ減退スルト云フノハ「アメリカ」市場ニ於ケル需要ガ減退スルカラデアル、是マデアリマスカラ「アメリカ」市場ニ於ケル異常ナル暴騰暴落ヲ防グニアラズンバ、此ノ統制ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイ、「アメリカ」ニ於ケル賣買ノ統制ヲセズシテ、之ヲ自然ニ放任スルト云フ制度ガ、果シテ日本ノ生絲ノ全部ニ好結果ヲ齎スカドウカト云フコトニハ非常ニ疑問ガアリマスガ、其ノ二三點ニ付テ御意見ヲ御聽キシタイ

○吉田政府委員 絲ノ品質ガ下ル傾向ヲ取ルト云フ問題ハ、要スルニ絲ノ品位ヲ定メマスノニドウシテモ細力ク刻ム、要スルニ一等、二等、三等ト云フヤウナコトヲ非常ニ細カク刻ムト云フコトガ非常ニ困難デ、ドウシテモ或ル範圍ノ幅ト云フモノデ決メナケレバ決メ得ナイ、斯ウ云フ時ニナツテ居リマス爲ニ、ドウシテモ今山田サンノ仰シリツタヤウニ、惡イ所ヲ狙ツテ造ルト云フヨリハ、良イ絲ヲ造ツテモ同ジコトダト云ツタヤウナ氣持ヲ助長シヤシナイカ、此ノ氣ノ緩ミガ知ラズ識ラズニ品質ノ低下ニナツテ來ヤシナイカ、斯ウ云フコトヲ懸念シテ居ルト申シテ居ルノデアリマス、機械ト技術ト云フコトモ仰シヤツタノデアリマスガ、製絲ノ方ハ御承知ノ通リニ機械力ト云フヨリモ殆ド職工ノ精神ノ緊張度デヤツテ居ル部分ガ非常ニ多イノデアリマシテ、一寸氣が緩ムト知ラズ識ラズニゾンザイナ絲

ニナル虞ガアルト云フコトヲ私申シテ居ル  
ソレカラ相場ノ方デ全ク一本ヨリモ少シ  
動ク方ガ宜イト申シタト云フ御話デゴザイ  
マスガ、是ハサウ云フ意見モアルノデゴザ  
イマス、一本デモ無論惡イコトモナイデゴ  
ザイマセウガ、少シ位動ク、所謂可動性ノ  
アル一種ノ安定ト云フノガ宜イノデヤナイ  
カト云フ議論モアルノデアリマス、ソレハ  
所謂相場ノ妙味ト申シマスカ、暴騰暴落ノイ  
カヌコトハ無論デアリマスガ、少シ位ノ、  
所謂小サナ波位ノ動キト云フ モノガ自由經  
濟ノ「アメリカ」ノ商人——中間商人ナリ、  
或ハ撫絲業者、加工業者等ニ向ツテ必要デア  
ル、爲替ノ關係上相場ガ少シ生キ物ノヤウ  
ナ形ニナツテ居ル方ガ寧ロ彼等ニハ妙味ガ  
アツテ、今ハ貲ヒ時ダト思ツテ買フト云フ  
ヤウナコトガアリマシテ、物ヲ敏活ニ流シ  
得ルコトモアリ得ルノデゴザイマシテ、ソ  
レハ洵ニ一理アルコトト思ヒマス、併シナ  
ガラ可動性ガアルト云ツテ、行過ギテ暴騰  
暴落スルヤナウコトデハ、全ク豫想ニ反シテ  
ニライ怪我ヲサセルコトニナル、オ得意先ヲ  
怪我サセルヤウニ値ヲ上ゲタリ下ゲタリスル  
コトハイケナイノデアリマシテ、僅カナ動キ  
デ安定サセテ置ク方ガ敏活ニ流レル、斯ウ  
云フ見方モアリマスガ、サウ云フ見方モ私  
共全ク根據ガナイコトデハナイ、斯様ニ見  
テ居ルト申シタノデアリマス、生絲ノ安定  
ハ米國ノ市場ニ於ケル價格ノ安定デナケレ  
バナラスト云フ御議論、是モ吾々モ狙ヒ所  
コトハ直接的ニハ出來ナイノデアリマシテ、

日本ノ制度トシテ致シマスルノニハ、輸出地、即チ横濱、神戸ニ於ケル輸出生絲ノ市場價格ヲ安定サセルト云フコトデ行クヨリ外ニ途ガナインデアリマス、今度ノ制度ニ於キマシテモ、暴騰暴落ヲ阻止致シマシテ、成ベク前刻申シタ狭イ範圍ニ於ケル所ノ動キ、斯ウ云フ範圍ニ於テ統制シテ行キタイト云フ考ヘデアリマシテ、之ヲ「アメリカ」ニ反映サセル、斯ウ云フ積リデ居ルノデアリマス

○山田(六)委員 價格ノ問題ガ出マシタカラ、價格ニ付テ御聽キヲ致シタイト思フノデアリマスガ、價格ガ二通りアルヤウデアリマス、價格ノ標準ヲ委員會ニ於テ決メルト云フコトト、更ニ別ノ方法ニ依ツテ決メルト云フ「一ツノ方法ガアルト思ツテ居ツタノデスガ、此ノ生絲ノ價格ノ標準ハ標準價格ト買入價格、賣渡價格ト云フニ「ツガアリマシテ、標準價格ノ方ハ蠶絲委員會ノ方デ決メル、サウシテ買入價格、賣渡價格ト云フノハ會社ガ農林省ノ許可ヲ受ケテ決メル、斯ウ云フ風ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ價格ト云フモノハ例ヘバ國用生絲ノ價格、繭ノ價格、或ハ輸出生絲ノ價格、斯ウ云フヤウナモノヲ價格ト言フデアリマセウガ、其ノ中ニ標準價格ト云フノト賣買價格ト云フノト差ガドウ云フコトニナツテ居リマセウカ

○吉田政府委員 御質問御尤モデアリマスガ、是ハ斯ウ云フ考ヘ方ナノデアリマス、此ノ委員會デ國用絲ノ検査ヲ致シマシテ、何段階ニナルカ分リマセヌガ、何段階カニナツテ参リマス、サウシテ總テノモノニ付テ一等格ガ幾ラ、二等格ガ幾ラ、三等格ガ幾ラト、各格ニ付キマシテ委員會デ値段ヲ決

マルト云フコトハ適當デヤアルマイ、ソレバ「ツ・一エー」格ト云ツテ居リマスガ、之ヲ幾ラト「レベル」ヲ決メル、サウシテ此ノ會社デハ他ノ格ニ付テモソレヲ中心ニシテ適當ニ格差ヲ決メル、何々格幾ラ、何々格幾ラト會社ガ能ク四圍ノ事情ヲ見テ格差ヲ決メル、サウシテ之ヲ農林大臣ニ認可ヲ申請シテ來テ、之ヲ認メル、斯ウ云フ行キ方デ行キタイト思ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ、今ノ標準物ヲ何ト定メ、其ノ値段ヲ幾ラト云フコトヲ決メルノガ委員會デアル、ソレニ基準ヲ置キマシテ、細カナ値段ハ會社デ決メテ認可ヲ受ケル、斯ウ云フ者ヘ方ヲシテ居ルノデアリマス

○山田(六)委員 ソレデ分リマシタガ、ソレハ國用生絲ガ一本ノ價格ヲ決メル、隨テ一本ノ繭ノ釘付ケノ價格ヲ決メル、斯ウ云フコトニナリマスガ、輸出ノ生絲ハ最高、最低ト云フ二ツノ價格ヲ定ステ、其ノ間ニ於ケル騰落ハ自然ノ需要供給トカ、或ハ經濟事情トカ云フモノニ委シテ決メルンダ、斯ウ云フ風ニ伺ツテ居ツタノデアリマスガ、サウ云フ御考ヘデアリマスカ、國內ノ生絲ヲ釘付ケニスル、隨テ國內ノ繭モ釘付ケヌスル、サウシテ輸出ノ生絲ダケハ或ル方法ヲ以テ公定價格ト云ヒマスカ、最高最低ト云フカ、制高制低ト云ヒマスカ、斯ウ云フ價格ヲ決定スル、斯ウ云フ御計畫ト聞イテ

居リマスガ、サウデアリマスカ

○吉田政府委員 大體繭ハ生産費ヲ基準ニ致シマシテ、買入値ト云フモノハ決マル譲ニ之ヲ配給スル、ソレヲ基準ニシタ值デ配給シマス、ソレデ製絲家ニ配給致シマス値

段ハ決マツテ居リマスカラ、之ニ適正ノ生産費ヲ加算シタル絲值デ買フ、サウシテ此ノ會社ハ適當ナ値デ賣ル、斯ウ云フコトニナリマスカラ、國用絲ニ付キマシテハ、餘程事情ノ變ラザル限リ動カナイコトニナツテ居リマス、輸出絲ノ方ハ、先程モ申シマスヤウニ販賣值ヲ一本ニ決メルコトニ致シマセヌノデアリマスカラ、相場ニ依ツテ動イテ來ル、但シ其ノ値幅ヲ極力統制ヲスルコトニナリマスカラ、其ノ範圍ニ於テハ相場ハ需給ノ關係デ動ク、斯ウ云フコトニナツテ居ル譯デアリマス

リシタ價格ノ安定ヲ徹底ス  
賣渡シスルナリ、條件附委託販賣スルコトヲ命令シテ  
シマシタナラバ、何十年トナク今日マデ價格ノ安定ヲ稱ヘテ實行シ得ナカツタモノガ、  
初メテ實行シ得ルト云フコトニ相成ルダラ  
ウト考ヘラレルノニアリマスガ、其ノ點ニ  
付テ御意見ヲ伺ヒマス

○吉田政府委員 此ノ價格ノ安定ヲ徹底ス  
ルニハ一本値ニスレバ宜イ、一本値ニスル  
ニハ一人デ買ツテ、其ノ人ガ決メタ値デ賣  
レバ宜イト云フノガ、其ノ一本値ニ議論デ  
アリマスガ、ソレヲヤリマスト色々懸念ガ  
アルト云フコトハ昨日來申上ゲマシタコト  
デ、山田サン御承知デゴザイマセウカラ申  
上ゲマセヌ、唯アメリカノ方デ、今御話デ  
ハ昨年ノ夏ト仰シヤツタノデスガ、非常ニ暴  
利ヲ得タヤウナコトモ御話ニナツタノデア  
リマスガ、是ハ外交轉換ノ問題ノ直後ノコ  
トダト思ヒマスカラ、昨年ノ夏ト申シマス  
ヨリ昨年ノ暮ト思フノデアリマスガ、アノ  
際ニハ斯ウ云フコトガアツタノデアリマシ  
テ、「アメリカ」政府ガ生絲ノ輸入ヲ止メルダ  
ラウ、斯ウ云フ一種ノ懸念ガ業界ニアリマ  
シテ、ソコデ日本ノ輸出屋トシテハ儲カル  
ノデスカラドンヽ買ツテ、船ノアル限  
リ向フヘ送ツテ、向フノ供給量ヲ多クシ  
ヨウト努メタノデアリマスガ、持ツテ行  
ツタモノヲ止メテシマフカモ知レス、サ  
ウ云フ風ニ止メラレタ時ニハ其ノ時ニ於  
テ「アメリカ」ニ存在シテ居ルモノガ供給量  
ノ總テデアツテ、機屋トシテハソレマデハ  
手控ヘ手控ヘデ買ツテ居ラナカツタ、腹ガ  
減ツテ居ル所ヘ、供給量ガ非常ニ少イ、此

ノ上入ツテ來ルノ所止メルカモ知レヌト云  
フヤウナコトガアツタ爲ニ、所謂「アメリカ」  
國內ニ於ケル需要ト供給ノ數量ノ「アン・バ  
ランス」カラアア云フ現象ガ起ツタノデア  
リマス、日本ノ方ノ相場デ反映出來ナイヤ  
ウナ状態ニナツタモノデスカラアア云フヨ  
トニナツタノデアリマス、ソレハ異常ノ状  
態デアリマシテ、ドウモ日本ノ法律ニ依ツ  
テ「アメリカ」ノ斯様ナ事情ノ下ニ出來ル相  
場ヲ統制スルトカ云フコトハ、到底出來ル  
コトデハナイト私ハ思ヒマス、會社ガ一手  
ニ買ツテ賣ツテ居リマシテモ、會社ガ送  
り出シタ船ガ止メラレテ戻ラナケレバナラ  
スト云フコトニナリマスレバ、當然同ジヤ  
ウナ現象ガ起ルノデアリマスカラ、會社ガ  
一手ニ買ツテ出スコトニ致シマシテモ、此  
ノ前ノヤウナ事情ガ起レバ同じ現象ガ起ル  
モノトス様ニ見テ居ル譯デアリマス

○山田(六)委員 其ノ點デアリマスルガ、  
昨年ハ特別ノ事情デアツタト云フコトデア  
リマスガ、此ノ生絲ノ暴騰スル時分ニハ何  
時デモ特別ナル事情ニ依ツテ暴騰スル、詰  
リ昭和十四年ノ夏カラ暮ニ起ツタ所ノ大暴  
騰、アノ大暴騰ノ如キモ内外相應ジテ生絲  
ノ消費ヲ致シタ、消費ヲ致ス爲ニハ色々ナ  
錯骨等モアリマシタラウガ、兎ニ角一般需  
要ガ激増シタト云フヤウナコト、政府ノ蠶  
絲業ニ對スル方針ナリ、生絲ノ配給ニ統制  
ヲ受ケル危険ヲ慮ツテ見タリ、種々ナルモ  
ノガ輻湊シテアア云フ非常ナ暴騰ヲ來シタ、  
暴騰スル時分ニハ必ず色々ナ原因ガアルコ  
トハ申スマデモナイノデアリマス、昨年ノ  
秋ニナリマシテ日米關係ノ悪化ガ生絲ノ價  
格ニ非常ナ影響ヲ及ボサウトシテ、狼狽シ  
テ大騰貴ヲ致シタノデアルカラ、サウ云フ

謄書ハ仕方ガアルマイト云フヤウナコトニ  
ナレバ、此ノ下ツテ來ルノモ色々ナ重大原因  
因ガアツテ下リ、上ツテ來ルモノモ重大ナ  
原因ガアツテ上ルノデアル、是ハ仕方ガナ  
ト云フノデ諦メテ今日マデ來タノガ日本ノ  
蠶絲業ノ狀態ナンデアリマス、是デハイカ  
ヌ、日本ノ蠶絲業ノ安定ガ付カヌ、ドウシ  
テモ此ノ際絲價ヲ安定センケレバナラスト  
云フノガ、此ノ絲價安定法ノ目的ダラウト  
私共ハ思フノデアリマス、デアリマスカラ  
輸出生糸ヲ統制セズニ、之ヲ放任シテ居ツ  
テ此ノ目的ヲ達成シヨウト云フコトハ、是  
ハ非常ナル困難デ、寧ロ出來ナイコトデ  
ナイカト私共ニハ思ハレルノデアリマス、  
殊ニ昨日ノ御話ノ中ニ、輸出ヲ會社ハスル  
ノカト云フト、會社ハ輸出セヌト言フ、「ア  
メリカ」等ニ於テ必要ガアレバ會社ノ支店  
等モ出來、出張所等モ出來、サウシテ健全  
ナル輸出生絲ノ取引ヲ或ハ開始シ、或ハ提  
合ニ依ツテハ會社ソレ自身ガ輸出ヲ試ミル  
ト云フコトモ一つノ方法ダト思フノデアリ  
マスガ、今日マデ長イ間絲價ノ安定ヲ稱へラ  
レマシテ、未ダ之ヲ實行スルコトガ出來ナ  
カツタノハ、餘リニ不徹底ノ統制ノミ縛  
シテ來タ結果デアルト私共ハ考ヘル、デア  
リマスカラ、此ノ蠶絲統制ノ機會ニ輸出生  
絲ノ總テヲ此ノ會社ニ依ツテ統制セシムル  
コトガ焦眉ノ急デアルト云フ風ニ考ヘラ  
ルノデアリマス、其ノ點ニ付テノ御意見ヲ  
伺ツテ置キタイ

云フコトニ致シマスレバ、諱イヤウデアリ  
マスガ、色々逆作用ガ出テ來テ却テ本當ノ  
目的ガ達セラレヌ、生絲ノ輸出ニ依ツテ外  
貨獲得ニ努メナケレバナラス際ニ、逆ナ結  
果ニナツテ行キヤシナイカ、斯ウ云フ心配  
ガアルノデアリマスカラ、ソレハ一手買入、  
一手販賣、要スルニ會社ガ一本デ皆抱ヘテ  
會社ノ一存デ決メタ値デ賣ツテ行クト云フ  
コトハ到底出來ナイ、却テソレハ逆ナ結果  
ニナリ、狙ヒトハ違ツタヤウナ不利ナ結果  
ニナル心配ガ多分ニアルカラ、政府トシテ  
ハ今此ノ際ヤルト云フコトヲ躊躇ズル、斯  
ウ云フコトヲ申シテ居ル譯デアリマスカラ、  
左様御承知ヲ願ヒマス

暴落ヲ阻止シ之ヲ制限スルト云フコトニ付テハ異存ガナイノデアリマス、唯ソレヲ徹底的ニヤル手段トシテ、會社ガ一手デヤツチ皆抱へ込ンデ、會社ノ重役ノ決メタ一本ノ値デ賣ルト云フコトハ、徹底的ニヤレルカヤレスカ、ヤツテ見テ巧ク行クカ行カヌカト云フコトノ懸念ヲ申シテ居ルノデアリマシテ、隨テ今サウ云フコトニスルト申シマシテモ、野放圖ニ放任スルコトガ宜シイト申シテ居ルノデハナイノデアリマス、價格ノ安定ト云フコトハ必要デアル、隨テ出来得ル限り小サナ波デ動キツツ安定シテ居ル、大體ノ所ニ相場ノ「レベル」ト云フモノガ置カレテ居ル、斯ウ云フ形デ暴騰或ハ暴落ト云ツタヤウナコトノナイヤウニシタイト云フコトハ、是ハ全ク考ヘガ一致シテ居ルノデアリマス、其ノ意味ニ於テ成ベク狭イ範圍デ小サナ波デ動イテ、可動性ノアル安定ト申スカ、サウ云フ形ニ置キタイ、サウ考ヘテ居ルノデアリマス

殆ドコツチノモノガ其ノ儘向フヘ反映シ、又向フデ或ル程度ノ人氣ガ加ハレバ其ノ相場ガコツチヘ反映シ、オ互ヒニ映シ合ラヤツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ私共ハ横濱、神戸ノ相場ト云フモノニ對シテ統制ヲ加ヘテ、或ル程度ノ形デ維持シテ行クト云フコトニナレバ、大體ソレガ「アメリカ」ニ映ルモノト思ヒマス、隨ヒマシテサウ云フ意味ニ於テコツチノ相場ヲ安定スレバ、其ノ形ニ於テ海外ノ消費者ノ方デモ安定シタ値デ買フコトガ出來ルヤウニナラウカト思ヒマス、間接ニコツチノ相場ヲ統制致シテ安定シテヤツテ行ケレバ、米國ノ消費者ニ安定シタ値段デ輸出出來ルモノト斯様ニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、現實サウナツテ居リマス、ソレカラサウスルト會社デ一手デ買ツテヤルノト違フノデハナイカト云フ御意見デアリマスガ、ソレハ一手デ買ヒマスト、サウ云フ大勢ノ人ノ色々ナ考ヘ方ガ綜合サレマシテ出來タ相場ト云フモノト、會社ノ或ル一個人ガ全部抱へ込ンデ幾ラト決メル値段トニハ非常ニ違ヒガアルノデアリマス、サウ云フコトニ致シマスルト、斯ウ云フ總テノ人ガ綜合的ニ考ヘテ作ツタツノ客觀的ノ標準ト云フモノハ存在シナイコトニナリマシテ、會社ノ社長ガ幾ラデ賣ラウト決メテ値段ガ絲ノ値段ト云フコトニナルノデアリマスガ、其ノ値段ハ成程決メレバ一本ニナリマスケレドモ、其ノ一本デズツト續ケテ行ケルカ行ケヌカト云フコトハ、結局向フノ方カラ押ヘテシマツテモウ少シ負ケナケレバト云フ譯デ、一月モ一月半モ買見送ラレルト云フコトニナルト、ツイ下ゲザルヲ得ナイト云フコト

イ品物デゴザイマスカラ、サウ云フコトハ  
ナイノデアリマスガ、今日物が非常ニ足リ  
ナクテ買人ノ多イヤウナ物ヲ今ノヤウニ一  
手ニ賣ルト云フコトデアリマスレバ、是ハ  
賣人ガ作ツタ値デ其ノ儘ソレガ實際ノ値ニ  
ナルト思フノデアリマスガ、生絲ノヤウナ  
餘ツタ物ヲ一手ニ抱ヘ込ンデ賣人ガ一存デ  
自分ノ都合ノ好イ値デ、決マルト云フコト  
ハ到底困難デアル、サウストドウシテモ  
抑ヘテ來テ下ゲル、斯ウ云フ風ニナツテ來  
ル、斯ウ云フコトヲ申シタノデアリマス  
**○山田(六)委員** 私ハ今一ツ御聽キ致シタ  
イノデスガ、其ノ點方殆ド實際トハ反對理  
念ノ下ニ立ツタ御考ヘダト思フノデアリマス  
ス、ソレハドウ云フコトカト云フト、値段  
ハ賣人ノ方デ考ヘナイデ、漸次下グラレル、  
斯ウ云フノデアリマス、是ハ値段ガ下グラ  
レル方ヲ見テ、上ゲル方ヲ見ナイノデアリ  
マスガ、値段ヲ上ゲルノハ自由經濟ノ下デ  
ハ買人側ニ決マツテ居ル、値段ヲ下ゲルノ  
ハ賣人ガ下ゲルニ決マツテ居ル、愈、賣レナ  
イトナレバ安ク下ゲテ是デモ買ハナイカ、  
是デモ買ハナイカト是ハ賣人ガ皆下ゲル、  
値段ヲ上ゲル際ニハ、買人ガ必ず俺ニ賣ツ  
テ吳レト云フコトニナル、俺ニ賣ツテ吳レ、  
幾ラヽデ買フ、是ハ買人ガ値段ヲ上ゲル、  
賣人ハ常ニ値段ヲ下ゲル、是ハ經濟界ノ實  
情デアリマス、今ノ幅ヲ以テ一本ノ値、ソ  
コガ錯覺ア一般ノ人ニ起サセル、一ツノ點  
ダ、斯ウ思ツテ居リマスガ、一本ノ値デ賣  
ルノデハナイノデス、會社ガ扱ツテモヤハ  
リ或ル幅ノ範圍内ノ値段デ賣ルコトニナリ  
マスカラ、是ハ一本ノ値デ賣ルノデハナイ、  
ナイデスカラ其ノ需要供給ノ關係ヲ見テ或

○吉田政府委員 私共八價格ノ安定、暴騰

一 フ問題ハ、是ハ毎日御覽ノ通りデアリ

マシテ、一ニナルト思ヒマス、ソレハ賣物が非常ニ少

ハ上ニ付クコトモアリ、或ハ下ニ付クコト

モアリト云フヤウナコトニナル、私ハ此ノ點ニ付テ最モ惧レルコトハ、此ノ會社ガ生絲ヲ全部統制シタイ、輸出ノ方ハ殆ド自由放任ニ致スト云フ結果ハ、全蠶絲界ト云フモノノ統制ヲ系ルノデハナイカト云フコトデアリマス。

ソレカラ今一つハ、是ハ全養蠶家ニ對シテ非常ナル不利益ナ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、ソレハドウ云フ譯デアルカト云フト、詰リ繭ノ價格ト云フコトニ付テ是モ御聽キシナクチヤナリマセヌガ、今日ノ繭ノ種類ガ三種類ニ分レテ居ル、輸出國用生絲、羊毛代用ニ分レテ居ル、此ノ三種類ノモノハ悉ク「プロ」計算ニナツテ、ドノ繭ヲ收メマシテモ利益ハ同ジダ、斯ウ云フヤウナ形ニナツテ養蠶家ノ方ニ金ハ支拂ハレルモノダラウト思フノデアリマス、ソレデ假定シマスト、輸出生絲ガ一等高イ、羊毛代用ガ一等安い所ニ居ツテ、國用生絲ガ中間ニ位スル、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマス、其ノ際ニ會社ガ最モ高イ所ニ居ル所ノ輸出生絲ヲ統制シナイト云フコトハ、ソレガ繭ノ價格ニ相當ノ影響ヲ及ボス虞ガアルトスウ思ツテ居リマスガ、其ノ點ハドウデスカ。

○吉田政府委員 繭ノ販賣、ソレカラ輸出

云フコトカラ製絲家トシテ有利デアルト云フ點ニ付キマシテハ、此ノ製絲ヲ基準ト致シマシテ、ソレカラ上ノ問題ニ付キマシテハ、ソレハ實際ハドウ云フコトニナルカ、其ノ場合々々ニ依ツテ違ヒマスガ、之ヲ繭代トシテ後デ絲ヲ販賣シタ時ニ會社ノ方デ取立テル、斯ウ云フ方法ヲクツ付ケテ施設ヲ講ジテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス。

○山田(六)委員 此ノ繭ノ價格ヲ決定スルト云フコトハ、生絲ヲ賣ツタ成績ニ依ツテ繭ノ價格ヲ決定スルニアラズシテ、本年ノ繭ト云フモノハ内地ノ生絲ハ斯ウ云フ工合、或ハ新用途繭ハ斯ウ云フ價格ヲ以テ賣ルノダ、輸出生絲ハ大體之ヲ標準トシテ賣ルノダ、其ノ標準ニ依ツテ本年内ノ繭ノ價格ヲ豫メ決定スル、其ノ標準ニ依ツテ繭ノ價格ヲ支拂フ、斯ウ云フ組織ニナルダラウト思ヒマスガ、輸出生絲ヲ賣リマシテ、或ハ内地ノ生絲ヲ處分シマシテ、其ノ上ニ繭ノ價格ヲ決定スルト云フコトニナリマシテ、或ナラバ、是ハ養蠶家ハ到底耐ヘ忍ブコトガハ適正ナ値デ一本デ會社ガ買ツテカラ後デテハ、其ノ用途ガ碎イテ短纖維ニ使ハウト、生絲ニ使ハウト、是ハ養蠶家ノ關係デ取リマシタ繭ヲ或ハ短纖維ノ方ニ向ケ、或ハ生絲ノ方ニ向ケル、サウスルト生絲ニ向ケマス場合ニハ、相當是ハ高ク買ツテ入レルト云フコトニナリマス場合ニハ、サウ云

フ風ニ動イテ、サウシテ今日短纖維ノヤウナモノニ使フ場合ハ寧ロ養蠶家カラ取ツタヨリモ多少安ク付クコトモアリマスカラ、此ノ方ノ穴埋メヲスルト云フヤウナ考ヘ方持ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ輸出絲ニ付キマシテハ、値ガソコニ多少動クト云フコトカラ製絲家トシテ有利デアルト云フ點ニ付キマシテハ、此ノ製絲ヲ基準ト致シマシテ、ソレカラ上ノ問題ニ付キマシテハ、ソレハ實際ハドウ云フコトニナルカ、其ノ場合々々ニ依ツテ違ヒマスガ、之ヲ繭代トシテ後デ絲ヲ販賣シタ時ニ會社ノ方デ取立テル、斯ウ云フ方法ヲクツ付ケテ施設ヲ講ジテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス。

○山田(六)委員 此ノ繭ノ價格ヲ決定スルト云フコトハ、生絲ヲ賣ツタ成績ニ依ツテ繭ノ價格ヲ決定スルニアラズシテ、本年ノ繭ト云フモノハ内地ノ生絲ハ斯ウ云フ工合、或ハ新用途繭ハ斯ウ云フ價格ヲ以テ賣ルノダ、輸出生絲ハ大體之ヲ標準トシテ賣ルノダ、其ノ標準ニ依ツテ本年内ノ繭ノ價格ヲ豫メ決定スル、其ノ標準ニ依ツテ繭ノ價格ヲ支拂フ、斯ウ云フ組織ニナルダラウト思ヒマスガ、輸出生絲ヲ賣リマシテ、或ハ内地ノ生絲ヲ處分シマシテ、其ノ上ニ繭ノ價格ヲ決定スルト云フコトニナリマシテ、或ナラバ、是ハ養蠶家ハ到底耐ヘ忍ブコトガハ適正ナ値デ一本デ會社ガ買ツテカラ後デテハ、其ノ用途ガ碎イテ短纖維ニ使ハウト、生絲ニ使ハウト、是ハ養蠶家ノ關係デ取リマシタ繭ヲ或ハ短纖維ノ方ニ向ケ、或ハ生絲ノ方ニ向ケル、サウスルト生絲ニ向ケマス場合ニハ、相當是ハ高ク買ツテ入レルト云フコトニナリマス場合ニハ、サウ云

フ風ニ動イテ、サウシテ今日短纖維ノヤウナモノニ使フ場合ハ寧ロ養蠶家カラ取ツタヨリモ多少安ク付クコトモアリマスカラ、此ノ方ノ穴埋メヲスルト云フヤウナ考ヘ方持ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ輸出絲ニ付キマシテハ、値ガソコニ多少動クト云フコトカラ製絲家トシテ有利デアルト云フ點ニ付キマシテハ、此ノ製絲ヲ基準ト致シマシテ、ソレカラ上ノ問題ニ付キマシテハ、ソレハ實際ハドウ云フコトニナルカ、其ノ場合々々ニ依ツテ違ヒマスガ、之ヲ繭代トシテ後デ絲ヲ販賣シタ時ニ會社ノ方デ取立テル、斯ウ云フ方法ヲクツ付ケテ施設ヲ講ジテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス。

○吉田政府委員 繭ノ販賣、ソレカラ輸出云フコトカラ製絲家トシテ有利デアルト云フ點ニ付キマシテハ、此ノ製絲ヲ基準ト致シマシテ、ソレカラ上ノ問題ニ付キマシテハ、ソレハ實際ハドウ云フコトニナルカ、其ノ場合々々ニ依ツテ違ヒマスガ、之ヲ繭代トシテ後デ絲ヲ販賣シタ時ニ會社ノ方デ取立テル、斯ウ云フ方法ヲクツ付ケテ施設ヲ講ジテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス。

○山田(六)委員 サウスルト、繭ノ價格ト云フモノハ——今日日本ニ於ケル各公定價格ハ、其ノ品物ノ最高價格デアリマスガ、繭ノ公定價格ハ最高價格ニアラズシテソレハ取引價格ダ、又國內ニ於ケル所ノ國用生絲ト云フモノハ、ヤハリ是ハ他ノ物價ノ如ク最高價格ニアラズシテ取引價格ダ、所謂一本價格ダ、斯ウ云フ風ニ承知致シテ宜シノデアリマスカ、ソレカラ今一つハ輸出生絲ノ問題デアリマス、輸出生絲ノ價格ヲ決定スルト云フコトハ、今日ノ所デ一千三百五十圓ヲ基準トシテ政府デ抑ヘテ居ルカ、是ハ昭和十六年本年ノ新繭以後ニナリマンテモ、ヤハリ此ノ一千三百五十圓ノ價格ヲ死守スル、斯ウ云フ風ダラウト思ツテ

通リデアルト思ヒマス、ソレカラ輸出生絲ノ市價維持ノ問題デアリマスガ、是ハ今日



家が安定スル、ソレヲ狙ツテ居ルノガ本法  
ノ考へ方デアリマス  
○山田(六)委員 私マダ一つノ質問ガ  
アルノデスガ、相當時間ガ掛ルト思ヒマス、  
大分時間ガ長クナリマシタガ、續ケテヤツ  
テ宜シウゴザイマスカ

○高橋委員長 ソレデハ時刻モ大分移ツテ  
居リマスカラ、本日ハ此ノ程度デ止メタイ  
ト思ヒマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シ  
マシテ、午前午後引續イテ會議ヲ行ヒタイ  
ト思ヒマス、ドウカ皆サンノ御精勵ノ程ヲ  
御願ヒ致シマス、ソレデハ是ニテ散會致シ  
マス

午後五時三十二分散會